

地域プライド一覧

(モデル地域市町村アンケート調査より)

資料参考上の注意

- ・ 本地域プライド一覧は、モデル地域（北上川流域地域・東中国地域・東九州地域）の市町村から寄せられたアンケート回答を一覧として整理したもので、個々に記載されている地域プライドの内容や取り組み内容について、すべての内容を網羅しているものではありません。
- ・ また、市町村から、地域の誇りとして考えられるものとして、「自然」や「食」、「天然記念物」に関するものも挙げられていましたが、本調査で取り扱う「歴史的地域プライド」の定義にそぐわないと判断し、一覧からは割愛しております。
- ・ アンケートは、1つの市町村から複数の担当部署に依頼をしたため、地域プライドの内容が重複して挙げられているものもあります。
- ・ 市町村名等については、合併前の市町村名を示したものもあります。

【北上川流域地域】

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
岩手県衣川村①	前平泉文化の安倍氏の発祥の地及び前九年の役の場所でもあった村全体（古戸、川東地区）	前平泉文化の基礎となったとされる、安倍一族の発祥の地と言われて、村内にも数々の関連の史跡が点在している。また、最近の発掘調査で確認されてきているが安倍氏時代の公的な寺院跡であると考えられる国指定史跡長者ヶ原廃寺跡史跡があり、平成 20 年世界遺産登録推進に事務を進めている。	世界遺産登録に向けた歴史講座	教育委員会	・ 神楽 ・ 発掘調査報告書 ・ 村史
			史跡周辺整備	教育委員会	
			村内史跡案内	教育委員会	
			神楽まつり	教育委員会神楽まつり実行委員会	
岩手県一関市①	せんまや夜市 一関市（千厩地域）	「昼売れなきや、夜売ればいい」という発想で 20 周年を迎えるせんまや夜市。商店街の重要なイベントのひとつになっている。	出店	商店会	
	日本一のもちつき大会 一関市（花泉地域）	花泉では昔から祭事や農作業の節目にもちをつく習慣があった。この祭りは夏祭りのイベントとして開催され、うすと杵を使った伝統的な餅つきを再現している。	夏祭り（日本一のもちつき大会）	夏祭り実行委員会	
	ちゃっこい村のでっかい花火大会 一関市（川崎地域）	毎年送り盆にあわせて北上川湖畔で行われる恒例の花火大会で、県内外から数多くの観光客が訪れ、川崎地域の重要なまつりのひとつとなっている。この北上川には古くは蒸気船が就航し、川崎地域は物資交易の中継地として栄えた地域である。	夏祭り（ちゃっこい村のでっかい花火大会）	夏祭り実行委員会	
	唐梅館絵巻 一関市（東山地域）	葛西氏の重臣千葉一族が平泉黄金文化の素地基盤である領内を守った本拠地である長坂城（唐梅館）。天象 18 年には、小田原参陣の大評定として豊臣秀吉に従うか否かを決定する軍議が一族終結のもと行われた。「唐梅館絵巻」では、よろい武者による参上行列をはじめ一族の運命をかけた「軍議」の様子を東山地域の子供から大人まで参加して壮大なスケールで再現する。	イベント（唐梅館絵巻）	唐梅館絵巻実行委員会	
	室根神社特別大祭 一関市（室根地域）	1280 年のこの大祭は、由緒の尊さを古式ゆかしく伝承され東北名代荒祭りといわれるなど、全国に「室根まつり」の名を伝えている。当時の様子を現代まで固く継承し、祭事に奉仕する神約は当時の子孫があたるなどの特色がある。祭事が行われるのは閏年の翌年、旧暦の 9 月 17 日から 3 日間で、室根を中心に周辺地域の氏子約 1000 人が参加して厚く盛り上がる。	お祭り（室根神社特別大祭）	室根神社特別大祭実行委員会	
	大東大原水かけ祭り 一関市（大東地域）	340 年以上も昔から伝えられてきたこの祭りは、毎年 2 月 11 日に行われており、氷点下の気温が続く極寒の中、裸で町中を走り抜ける厄年の男たちに厄払いの願いをこめて水を頭から浴びせかける行事。この祭は明暦 3 年（1657）の江戸振袖火事に由来し、火防祈願、無病息災、家内安全を祈るもの。	お祭り（大東大原水かけ祭り）	大原水かけ祭り実行委員会	
	骨寺村荘園遺跡 一関地域	中尊寺の全身と地元で伝承されている本寺は、昔骨寺村と呼ばれた中尊寺大長寿院伝蔵の得ずに描かれた現地であり、景観が昔から変わらず中世農村をイメージさせる希有な土地である。	文化遺産保護（骨寺村荘園遺跡）	地域住民国指定（史跡）	
	鉄五輪塔地輪 一関市（花泉地域）	鎌倉時代の建長 6 年（1254）年に 40 余人の州都が造立発願し、文永 5 年（1268）に完成した。造立当時の高さは 1 丈 1 尺、方 3 尺を越える我国最大の鉄五輪塔だった。現在は地域の宝として大切に保存されている。	文化遺産保護（鉄五輪塔地輪）	国指定（工芸品）	
	原本無刑録 一関市（大東地域）	我国の刑法界の先駆者として活躍した芦東山が、江戸時代に恩師「室鳩巢」から託された刑律の研究に心血を注ぎ、全 18 巻からなる「無刑録」を書き上げた。それが明治に陸奥宗光の世話により近代日本の刑法の原点として出版、全国に配布され日本の刑法をつくる際の参考にされた。	文化遺産保護（原本無刑録）	地域住民国指定（典籍）	
	木造薬師如来像 一関市（千厩地域）	平安後期の作とされ、均整のとれた容姿や温和な要望などは美術的に高く評価されている。法衣のすそに藤原時代の丸文様（二重の蓮の花）が描かれており、体部の衣は朱塗りで「朱衣金体」といわれ平安時代の資料として貴重なもので、大光寺の蔵に大切に保管されている。	文化遺産保護（木造薬師如来像）	大光寺県指定（彫刻）	
	木造来迎弥陀及び菩薩像 一関市（東山地域）	土地の人々が二十五さまとよび崇敬している像で、平安後期の作で来迎の御仏を悉く彫刻にして祭ったという貴重な文化財である。衣文は極めて流麗で、容易にみることのできない洗練されたつくりとなっている。	文化遺産保護（木造来迎弥陀及び菩薩像）	県指定（彫刻）	
	最明寺石塔婆 一関市（川崎地域）	布佐地区、最明寺の隣地にある石塔婆は、今から 700 年以上も前、建長 8 年に建立されたもので、通称「建長の碑」と呼ばれる。この石塔婆は岩手県最古の碑であり、また粘板岩からできた貴重な双式碑ということで岩手県の有形文化財に指定されている。	文化遺産保護（最明寺石塔婆）	県指定（考古資料）	
舞川鹿子躍 一関地域	市民の手によって受け継がれてきた伝統芸能のひとつに、県の無形民俗文化財として指定を受けている。平成 9 年の文化財指定以来会員による意欲的な活動が続けられている。	蔵美地区神楽大会	地域住民	・ 舞川鹿子躍	
	愛宕花相撲 一関市（千厩地域）	しばらくの間途絶えていた女相撲を当時の古老たちの指導のもとに、昭和 50 年愛宕神社例祭の前夜祭で、愛宕花相撲として復活させた経緯がある。呼び出しから行司、横綱、幕内力士まで総勢 50 数人、「千厩名物何よと問えば、女相撲に玉の春・・・」の女相撲基句が流れる。	愛宕神社例祭	地域住民	・ 愛宕花相撲

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	行山流大木鹿踊り	文化 7 年（1810）年大原村（大東地区）の山口より東山地区の大木集落に伝えられたもの。行山流山口は、伊達公より紋章を賜り発祥したといわれている。勇壮で躍動感にあふれる踊りは後継者を絶やすことなく今日まで伝統を守り通しており、現在町内で唯一の鹿踊りとなっている。なお、大木集落には、鹿踊りを記念する供養等が 2 基建立されている。	地域の祭事やイベント	地域住民	・行山流大木鹿踊り
	一関市（東山地域）				
	上山流田植え踊り	里人たちが旧正月に農王社の社前で田打ち耕起のまねをした り、田植え歌を歌いながら松の葉の芯などを雪の上や土壇にさし、田植えのまねをする慣わしから始まり、それが次第に芸能化されて、今の田植え踊りとなった。	郷土芸能まつり	地域住民	・上山流田植え踊り
	一関市（室根地域）				
	布佐神楽 県南地域	山伏神楽の流れをくむ、勇壮な神楽がいくつもあり、それぞれ地域の伝統をまもりながら継承している。	地域の祭事や神楽大会	地域住民	・布佐神楽
岩 手 県 花 巻 市①	童話作家・宮沢賢治生誕の地	「雨ニモメケズ」、「銀河鉄道の夜」などの詩・童話は地域住民に限らず、世界中に認知されている。また、「イギリス海岸」は市内を流れる北上川の河岸がイギリスのドーバー海峡を思わせることから賢治が名付けた。また、賢治が教鞭をとった花巻農学校（現花巻農業高校）の敷地内に賢治が地域の農業青年に農民芸術概論などの講義を行った「羅須地人協会」が移転復元されている。	宮沢賢治記念館	花巻市、宮沢賢治記念会	・「雨ニモメケズ」「銀河鉄道の夜」等々 ・「精神歌」「種山ヶ原」等々 ・ミュージカル「銀河鉄道の夜」 ・「我が心の銀河鉄道」、「宮沢賢治その愛」 ・各種童話
	花巻市		イーハトーブ館	花巻市、宮沢賢治記念会	
			宮沢賢治童話村	花巻市	
			童話村メルヘンフェスティバル	童話村メルヘンフェスティバル実行委員会	
			賢治生誕祭	賢治生誕祭実行委員会	
			賢治祭	賢治祭実行委員会	
	詩人・高村光太郎ゆかりの地	戦時中、宮沢賢治の弟・清六氏を頼り東京より疎開。終戦後旧太田村に移り、農耕自炊生活に入り、創作活動を行う。冬には雪が吹き込むあばら屋で思索の生活を送ったのが「高村山荘」です。山荘は套屋によって保護されているが、これは光太郎を敬慕する村人達が一本一本持ち寄った木で建てられたものである。	高村光太郎記念館	高村記念会	・「道程」「智恵子抄」等々 ・野兎の首ブロンズ像等々 ・中学生のための花巻人物誌「揆奮」
	花巻市（太田地区）		高村祭	高村記念会	
	新渡戸稲造父祖ゆかりの地	世界平和のため尽力した国際人・新渡戸稲造の先祖は、1598 年から約 220 年間、現在の花巻市高松安野の地に居住し、代々文武両面にわたって花巻城土の指導的役割を果たすとともに、新田開発など地域の発展に貢献した。青森県十和田市の生みの親といわれる新渡戸傳（稲造の祖父）は、1793 年花巻で生まれ、十和田三本木平の開発に子・十次郎と従事し十和田市発展の基礎を築いた。	花巻新渡戸記念館	花巻市	・中学生のための花巻人物誌「揆奮」
	花巻市（矢沢地区）				
	神楽・鹿踊り等の郷土芸能		葛郷土芸能伝承館	葛連合会	・胡四王神楽、上ノ山鹿踊り等々
	花巻市		花巻まつり	花巻まつり実行委員会	
	花巻まつり	花巻開町の祖、花巻郡代北松斉（きたしょうさい）公を祀り 400 年伝統を誇ります。松斉公が没してから、花巻城の行政区である稗貫・和賀の二郡の大祭となり、花巻三町（四日町、一日市町、川口町）のみならず、二群近在より人が出て大変にぎわった。	風流山車パレード		・風流山車、御輿、鹿踊り、神楽等の伝統芸能
	花巻市		御輿パレード		
			鹿踊り・神楽権現舞パレード		
花巻囃子パレード					
岩 手 県 盛 岡 市①	伝統さんさ踊り	○各地区の伝統さんさ保存会 各地区の歴史や伝統を受け継いでいるため、地区によって踊り方が異なり個性的であること。また小・中学校の生徒による保存の取り組みが行われている地区があること。	盛岡さんさ踊り	盛岡さんさ踊り実行委員会、盛岡市	
	盛岡市（市内各地域）		保存活動（市内各地区）	大宮、仙北小鷹、北山、三本柳、黒川、太田等	
			首都圏での盛岡PR		
	安倍氏にみる中世北東北国家形成の歴史	○厨川柵、天昌寺、安倍館遺跡 近隣の小学校において、「総合的な学習の時間」が行われる前から安倍氏の歴史について学ぶ機会が設けられているから。	自主勉強会	前九年町内会（盛岡ひ・ストーリー）	・小学生用に作成。 一般向け刊行物：『陸奥話記』
	盛岡市（前九年地区、安倍館町地区、厨川地区）		地域の歴史を学ぶ	前九年町内会（盛岡ひ・ストーリー）、厨川小	
	市民の手による全国唯一の「文士劇」	○盛岡劇場、岩手県公会堂 約 90 年の歴史を持つ盛岡劇場（現在は公の施設）を舞台に上演されている「盛岡文士劇」は、地域独自の歴史や習慣を取り入れた演劇として広く認知されているから。	文士劇上演（毎年 11 月末）	盛岡文士劇実行委員会、盛岡市文化振興事業団	・演劇の上演
盛岡市河南地区	演劇稽古の公開		市内に 20 ある市民劇団		

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ	
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	多くの文人を輩出していること	○岩手公園、もりおか啄木・賢治青春館、啄木新婚の家、先人記念館等 市内の至る所に、石川啄木や宮澤賢治等の文人に関する史跡があり、市民の憩いの場となっているから。また小・中学校の授業において当市にゆかりの文人たちに関する内容が盛り込まれていることから。	啄木・賢治観光ルートの開発	盛岡市、玉山村	・雨二モ負ケズ等の作曲 ・市民公開講座（先人記念館、もりおか啄木・賢治青春館）	
	盛岡市		業績の顕彰	盛岡市、玉山村		
			パンフレット類の作成	盛岡市、玉山村、盛岡市観光協会		
			もりおか啄木・賢治青春館	盛岡市		
			啄木新婚の家	盛岡市		
			先人記念館（金田一京助記念室）	盛岡市		
	日本の国際交流の礎となった新渡戸稲造	○先人記念館、新渡戸緑地 新渡戸の終焉の地、カナダ・ビクトリア市との交流が20年以上に及び、市民レベルでの交流も盛んになっているから。	姉妹都市事業	盛岡市、盛岡市国際交流協会	・市民公開講座（先人記念館）	
	市域全域		中学生の交換派遣	盛岡市、盛岡市教育委員会		
			先人記念館（新渡戸稲造記念室）	盛岡市、盛岡市教育委員会		
	平民宰相原敬	○大慈寺、原敬記念館他 初の平民宰相、政党政治の礎を築いた。現在でも総理就任者や政党幹部らが墓参りに訪れる。夫妻の墓を同一にするなど当時としては先駆的な考えが有名である。	公開講座の実施（原敬記念館、先人記念館）	盛岡市、盛岡市教育委員会	・市民公開講座（原敬記念館、先人記念館）	
市内全域						
岩手県盛岡市②	城下町の歴史的遺産と街並み	盛岡城址は現在岩手公園として市民の憩いの場となっている他、城下町として発展してきた地域に残る祭りや産業、伝統行事が、現在でも市民にとって大きな誇りとなっている。	盛岡城跡（岩手公園）	盛岡市、地元商店街	・パンフレット ・HP	
	盛岡市		志波城古代公園	盛岡市		
			寺町通り整備	盛岡市		
			盛岡遺跡の学び館	盛岡市		
	日本の政治・文化・芸術に大きな足跡を残した先人たちの業績	盛岡市は、近代政党政治の先駆者である原敬、アイヌ語研究の金田一京助、軍人でありながら太平洋戦争の終結に尽力した米内光正の出身地であり、また石川啄木や宮沢賢治が青春時代をすごした地として、これら先人たちの精神を育んだ郷土に対して、市民は大きな誇りを抱いている。	盛岡市先人記念館	盛岡市	・彫刻等 ・パンフレット ・HP	
	盛岡市		盛岡市原敬記念館	盛岡市		
			盛岡てがみ館	盛岡市		
			もりおか啄木・賢治青春記念館	盛岡市		
	旧城下町の時代から受け継いだ伝統芸能と文化遺産	みちのくを代表する夏まつりのひとつである「もりおかさんさ踊り」は日本一の太鼓の数を誇るパレードとして有名でありおどりの大群舞は、夏の最大のイベントとして市民の大きな楽しみであるとともに、誇りとして定着している。夏の到来を告げる「チャクチャグ馬コ」は、古くから馬産地として名を知られてきた郷土においての、馬への感謝を示す伝統行事として全国的に有名である。	もりおかさんさ踊り	盛岡市、各町内会、各民間企業、各種同好会等	・HP	
	盛岡市		チャグチャグ馬コ	盛岡市、実行委員会		
			舟っこ流し	町内会、実行委員会		
			盛岡文士劇	盛岡市、実行委員会		
みちのく国際ミステリー映画祭			盛岡市、大通商店街、実行委員会等			
海外へ通用するブランド「南部鉄器」			古くから鉄と木炭資源に恵まれ、藩政時代より鉄器づくりが盛んであり、全国的に知られる南部鉄器は鉄器の代名詞的存在である。昭和50年には国の伝統的工芸品第一号の指定を受けている。近年は海外へも輸出され、ブランドイメージも確立している。	「盛岡てづくり村」での工房設置		地場産業振興センター、盛岡市、各民間企業
盛岡市						
岩手県石鳥谷町①	南部杜氏の里としての誇り	石鳥谷町は南部杜氏の里として、藩政時代より南部の酒造り350年余りの歴史を担い続けてきた。南部杜氏は、越後杜氏、丹波杜氏と並び、日本三大杜氏に数えられる洗練された酒造りの技を受け継ぐ職人たちですが、数年前に、その数で越後杜氏を抜き、全国一となる。	酒まつりの開催	・南部杜氏伝承館、歴史民俗資料館等の施設		
	石鳥谷町		まちの駅「蔵」			
					パンフレットの作成	
岩手県石鳥谷町②	南部杜氏の里としての誇り	町内に酒造を移設復元した南部杜氏伝承館や国指定有形文化財に指定された酒造用具1、788点を所蔵する歴史民俗資料館が設置されているほか、南部杜氏の方々が技術研鑽する場である南部杜氏協会があり、「南部杜氏の里」として町民の意識が高い。	杜氏講習会	南部杜氏協会	・伝承技術	
	石鳥谷町		酒造大学	南部杜氏協会		
岩手県前沢町①	水田耕作および農村生活	水田耕作が盛んな地域であり、小規模ながらも兼業農家の家が多い。これらの家では、田植え、稲刈りなど一連の作業を家族・親戚でこなす。豊作を祈るこの生活の中に神社の祭礼や年中行事（みずき団子、果報団子や農はだて）などが付随する。	小正月行事	公民館、自治会、	・副読本	
	前沢町		神社祭礼	氏子		
			神楽など伝統芸能	地域住民、各保存会		
	千田左馬・遠藤大学による水路開鑿	現在は広大な水田地帯である前沢町も、近世初期までは、水利が悪く水田耕作の難しいところであった。江戸時代初期に後藤寿庵が胆沢川からの用水路を開鑿するが、キリシタン弾圧により中座した。それを引き継ぎ前沢まで水路を引いたのが、千田左馬と遠藤大学である。近年まで「遠藤家で田植えが終わらないうちは、自分の家の田植えをしない」などといわれ、その功労が称えてられている。	町民劇場	町民劇場実行委員会		
			歴史講座	公民館、教育委員会		
			副読本	教育委員会		

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ		
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体			
	対象地域						
	武士と商人の町としての前沢	近世は伊達藩に属し、城と武士が設置された。また、街道筋にあるため宿場町でもあり、商人町としても栄え、商売上手だといわれていたという。武士町の名残として、喜多流の歌いが今も愛されている。謡いは大人であれば必ず謡えるもので、今でも結婚式をはじめとする祝賀の行事では欠かせないものとなっている。	謡いの会	サークル活動、厄年にあたる人			
	前沢町旧前沢地域		夏祭りなど				
			あきんど祭り	小学校			
岩手県滝沢村①	チャグチャグ馬コ発祥の地としての誇り	昭和 53 年 1 月 31 日「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」として、文化庁から選定された。 平成 8 年には、馬の鈴の音が環境省の「残したい“日本の音風景 100 選”」に認定されている。	チャグチャグ馬コ行進行事	チャグチャグ馬コ保存会	・新民謡「チャグチャグ馬コ」 ・チャグチャグ馬コ写真コンテスト優秀作品集 ・16 ミリ記録映画「チャグチャグ馬コ」 ・絵本チャグチャグうまっこ ・「チャグチャグ馬コ」調査報告書（盛岡市教育委員会編集） ・チャグチャグ馬コの記		
			チャグチャグ馬コまつり	滝沢村観光協会			
			チャグチャグ馬コまつり写真撮影会	滝沢村観光協会			
	チャグチャグ馬コ施設訪問		チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部				
	チャグチャグ馬コ初詣		チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部				
	滝沢村全域						
岩手県滝沢村②	岩手山山岳信仰の拠点としての誇り	岩手の最高峰岩手山は、いにしえから祈りの対象として崇められてきました。山岳信仰に基づく建造物を地域の人々が大切に守ってきている。そして山伏や神職たちが神楽を奉納して地域の安泰と五穀豊穡を祈願してきました。また、これらの奉納舞を伝える篠木神楽や川前神楽は、岩手山進行に依拠して山麓の神社を拠点に広い範囲で活動しており、現在にいたっている。	篠木神楽	篠木神楽保存会	・篠木神楽、川前神楽 ・郷土芸能 DVD、動画配信 ・各郷土芸能を村HPで紹介		
			川前神楽	川前神楽保存会			
			郷土芸能紹介ビデオ・DVD	滝沢村教育委員会、（財）地域創造			
	滝沢村青少年郷土芸能発表会		滝沢村教育委員会				
	宮澤賢治ゆかりの地としての誇り		宮沢賢治の作品の源泉となった本村の鞍掛山を含む岩手県内 6 カ所の自然景観が「イーハトーブの風景地」として、景観の重要文化財にあたる国指定名勝に指定。「鞍掛山」に関する宮沢賢治作品は、「くらかけの雪」、「小岩井農場パート1」「小岩井農場」下書、「滝沢野」、「白い鳥」、「一本木野」、「国立公園候補地に関する意見」、「くらかけ山の雪」、「春谷暁山」下書、「つめたい風はそれで吹き」などがる。	鞍掛山国指定名勝指定		文化庁、岩手県、滝沢村	・宮澤賢治作品 ・春子谷地湿原保全基礎調査、文化財調査報告書 ・村HP、鞍掛の花、 ・賢治関係書籍多数
				春子谷地湿原保存管理		岩手県、滝沢村	
鞍掛山山開き		滝沢村					
イーハトーブの風景地保存管理計画策定	岩手県、滝沢村						
滝沢村全域							
岩手県藤沢町①	文化資源		縄文の炎・藤沢野焼祭 2005	野焼祭実行委員会	・祭にあった音楽の作成（モンジョリドー） ・地域に根ざした神楽		
	全町						
	文化資源		子ども郷土芸能発表会	藤沢町教育委員会			
	全町						
	まち資源		まちづくり（地域づくり）	自治会協議会			
全町							
岩手県北上市①	日本随一の民俗芸能団体数	岩手県は民俗芸能の宝庫（平成 11 年現在 1269 団体）だが、そのうち約 130 団体は北上市内で活動する団体であり、この数は東北地方はもとより全国的にも最大を誇る。中でも代表的な芸能である「鬼剣舞（おにけんぱい）」は、約 1300 年前に修験山伏の祖が仏教布教のために踊った踊りが始まりとされるなど、長い歴史の中で踊り継がれてきた。毎年 8 月に開催される民俗芸能の祭典「北上・みちのく芸能まつり」（昭和 37 年～）をはじめ、市民は幼少の頃から折に触れ民俗芸能に親しむ土壌が形成されている。	北上みちのく芸能まつり	北上みちのく芸能まつり実行委員会	・130 団体ほどの民俗芸能団体 ・鬼剣舞全演目公演ビデオ ・鬼剣舞リーフレット ・いわて民俗芸能入門 ・北上みちのく芸能まつりHP ・鬼剣舞人形、鬼剣舞をモチーフとしたキャラクター		
			鬼剣舞をはじめとする各種民俗芸能保存活動	各団体の保存会			
			夏油温泉鬼剣舞かがり火公演	夏油温泉開発連絡協議会、岩崎鬼剣舞保存会			
			鬼剣舞リーフレット	北上市			
			「鬼とは何か」を探るテーマ館「北上市立鬼の館」	北上市教育委員会			
			北上川における舟運の拠点	江戸時代、黒沢尻（今の北上市）は北上川舟運の要衝で、沿岸最大の河港があり、江戸に送る米などの積み替え港として賑わっていた。その主役として行き交った舟が漕（ひらた）であり、市民の有志によって、昭和 63 年には「天神丸」、平成 12 年には「北上川連携号」の 2 艘の漕が建造された。北上川を通して人、物、文化の交流の中心にいた歴史は、周辺住民にとっての誇りとなっている。		北上川舟まつり	北上川舟まつり実行委員会
	北上市（川岸地区）	舟運復活事業（ひらた舟運航、舟の学校）	ガイア展勝の会				
		市民劇場の題材としての取組み	北上市民劇場実行委員会				
		「北上川とその流域に生きた人々」のテーマによる市立博物館展示	北上市立博物館				

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ	
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
宮 城 県 石 巻 市①	はねこ踊り		はねこ踊りフェスティバル	はねこ踊り保存会、 地域住民	・民族芸能 85 号	
	石巻市（桃生地区）		寺崎八幡神社例大祭			
宮 城 県 石 巻 市②	慶長遣欧使節が出帆した地としての誇り	慶長遣欧使節船サン・ファン・パウティスタ号が、石巻の月浦から、支倉常長一行を乗せ、ローマへ旅出たことは、全市民が知るところであり、復元船サン・ファン・パウティスタ号を基盤としたサン・ファン・パウティスタパーク（宮城県慶長遣欧使節船ミュージアム）が建てられ、宮城県全域に広く知られているため。	サン・ファン祭り	慶長遣欧使節船ミュージアム	・ファンクラ伝 ・サン・ファン賛歌 ・サン・ファン・パウティスタ号賛歌 ・オペラ「支倉常長 遠い帆」	
	石巻市（石巻地区）		ファンタジーフェスタ	慶長遣欧使節船ミュージアム		
				サン・ファン感謝デー		
	伊達政宗に仕え、北上川を開削し、石巻繁栄の礎を築いた川村孫兵衛の業績を持つ誇り	北上川下流の流路を変え、河川交通網を整備し、江戸時代の石巻を一寒村から東北一の港町に変えた川村孫兵衛の業績は「石巻川開き祭り」として市民に深く浸透し、毎年度、石巻最大の祭りとして、市民に受け継がれている。	石巻川開き祭り	石巻川開き祭り実行委員会	・キャラクター（硯のけんちゃん）	
	石巻市（全域）					
	硯生産全国一であり、雄勝硯や天然スレート（雄勝石）を生み出す誇り	口伝によれば、室町時代にまで遡る雄勝硯の生産は全国一の生産量を誇り、昭和 60 年には、伝統工芸品の指定を受けている。また、建築物の屋根材として多用された天然スレートは、東京駅など、全国の歴史的近代建築物に用いられており、屋根葺技術（石盤葺）は、本年 8 月に東北で二番目の、国選定保存技術に選定された。	硯上クラブ	各小中学校		
	石巻市（雄勝地区）					
	捕鯨のまち牡鹿鮎川としてのプライド	捕鯨基地として栄えた鮎川は、商業捕鯨禁止後も IWC 規制外の小型捕鯨（ツチ鯨、ゴンドウ鯨）を捕獲・水揚げしている。最近では、沿岸捕鯨の救済措置により、ミンク鯨の調査捕鯨が始まっている。鮎川といえば鯨、鯨といえば鮎川と言われるほど全国的にも有名であり、捕鯨が盛んに行われていた頃の鮎川の大半の人々は、捕鯨産業に関連した職に就いたといわれるほど鯨との結びつきは深い。	鯨まつり	観光協会、鯨まつり実行委員会	・「鯨と生きる」石巻地区広域行政事務組合視聴覚教材センター（自主教材） ・「鯨と戦う男」主演：高倉健ロケ地 鮎川） ・「日本沿岸捕鯨の攻防」近藤勲著 ・「華やぎ町にて一鮎川・捕鯨全盛の頃一」岡田寛著	
	石巻市（牡鹿地区）		おしかホエールランド	石巻市		
			学校給食における鯨メニューの提供（鯨の食文化啓蒙）	石巻市		
			住民に対する調査捕鯨による副産物（鯨肉）の配布（有償）	石巻市		

【東中国地域】

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称		
	対象地域					
岡山県井原市①	北条早雲生誕の地		早雲まつり	高越城址顕彰会	早雲まつり パンフレット	
	荏原地区					
	雪舟終焉の地		雪舟サミット	総社市、島根県益田市、山口市、田川町、大野町、井原市芳井町		
	芳井地区		記念法要	地元住民		
岡山県岡山市①	吉備の中心地としての誇り	造山古墳や大廻小廻山城跡、彦崎貝塚をはじめとする、有数の史跡、遺跡が集中し、北部九州や畿内に劣らない遺跡の宝庫である。特に造山古墳は全国第 4 位、天皇陵に比定されている古墳以外では最大規模を誇り、付近に所在する弥生時代最大の墳墓、楯築弥生墳丘墓（倉敷市）などを含め、吉備の原始・古代史の謎と魅力にあふれている。	史跡賞田廃寺跡保存整備	岡山市	・岡山大学の研究・発掘調査、県・市の発掘調査など ・『吉備の考古学的研究』 ・『吉備の考古学』 ・『岡山県の考古学』	
			史跡津島遺跡保存整備	岡山県		
			史跡大廻小廻山城跡保存整備	岡山市		
			彦崎貝塚の保存と整備	岡山市		
			史跡・埋蔵文化財の保護	岡山市、遺跡保護調査団等		
			造山古墳のデジタル測量調査	岡山大学等		
			遺跡の現地見学など	岡山県、岡山市、古代吉備国を語る会		
	岡山市全域及び周辺市町村					
	桃太郎伝説(吉備津彦伝説)の地	桃太郎の物語の原形ともいわれる、朝廷から派遣された四道将軍・吉備津彦とまつろわぬ鬼・温羅が戦った伝説が残り、吉備津彦を祀る吉備津神社、吉備津彦が立てた櫓とされる楯築遺跡、温羅が立て籠もったといわれる鬼ノ城などがある。鬼をうち破って吉備氏の祖となったという吉備津彦とともに、温羅も『記紀』にみえる吉備氏の反乱伝承とむすびつけられ、大和朝廷に逆らった吉備の大首長ともいわれ、単に悪役としての鬼という以上に愛着を持って受け入れられている。	おかやまと桃太郎展	岡山市デジタルミュージアム	・桃太郎像など多数 ・ミュージカル	
	吉備中山と吉備津神社・吉備津彦神社	備前・備中の境をなす吉備中山は「真金吹く吉備の中山帯にせる細谷川の音のさやけさ」などの歌にも詠まれ、古来、吉備津神社や高麗寺、重源の常行堂などの宗教施設が集中する「神聖な山」。『平家物語』で有名な藤原成親の配流地としても知られる。吉備津神社は足利義満が勅命により造営した比翼入母屋造の本殿(国宝)で知られ、『雨月物語』で有名な釜鳴神事、七十五膳神事など神秘的な神事を伝える。吉備津彦神社は江戸時代、備前岡山藩が総力を結集した本殿、昭和 11 年に神社建築の大家・角南隆設計で建てられた拝殿・祭文殿など豪壮な建築がならぶ。御田植え神事、流鏝馬神事など特色ある神事も魅力。	吉備津神社	吉備津神社	・「吉備中山の総合調査」	
			吉備津彦神社	吉備津彦神社		
			史跡・遺跡の保護	岡山県、岡山市、吉備中山を守る会など		
		岡山市(一宮、高松、吉備地区)	伝大 吉備津彦 尊陵(中山茶臼山古墳)	宮内庁書陵部		
			はなぐり塚・藤原成親遺跡等	福田海		
			宮内路	宮内おどり保存会		
	高松城水攻めと太閤秀吉天下人への道	「高松城水攻め」で有名な備中高松城跡や水攻め築堤跡をはじめ、織田方、毛利方の対峙した陣跡が各所に残る。羽柴秀吉の天下とりの重要なターニングポイントとなる合戦であるとともに、城兵の命と引き替えに自刃した毛利方の武将・清水宗治など地域の思い入れは深い。	史跡・遺跡の保護	岡山県、岡山市	・岡山市HP など	
			史跡備中高松城跡の保護	岡山県、岡山市、高松城址保興会		
			高松城址資料館	岡山市、高松城址保興会		
	岡山県岡山市②	岡山城と城下町	岡山城は秀吉の養子で五大老の一人、西国宰相・宇喜多秀家が築城した桃山期を代表する城郭。黒い下見板を貼った姿から「烏城」とも呼ばれる。天守閣は戦災で焼失、現在は鉄筋コンクリート造の復興天守。岡山のシンボリック存在。江戸期の月見櫓・西手櫓の 2 棟が残る。城下町は明治以降の開発等により面影はほとんどないが、史跡・岡山藩藩学跡などが残る。	史跡・遺跡の保護	岡山県、岡山市	・岡山市HP ・史跡整備パンフ ・発掘調査報告書など
				史跡岡山城跡保存整備事業	岡山市	
				特別名勝岡山後楽園	岡山県	
				烏城公園、岡山城天守閣	岡山市	
岡山市中心部						
荘園絵図と足守藩陣屋町		古くは日本書紀応神紀に葦守宮の記述があり、兄媛を追って訪れた応神天皇が滞在したといわれる。平安時代末の神護寺蔵・備中足守庄絵図に描かれた地割り、景観を残す。足守藩は北政所の兄・木下家定が入府し立藩。陣屋に隣接する大名庭園・近水園、家老杉原氏の屋敷(旧足守藩侍屋敷遺構)をはじめ、陣屋町の町並みが残り岡山県の町並み保存地区となっている。2万5千石の小藩ながら、緒方洪庵、歌人・木下利玄らを輩出。	史跡・遺跡の保護	岡山県、岡山市	・岡山市HP	
			近水公園	岡山市		
岡山市(足守地区)			近水園、旧足守藩侍屋敷遺構、足守文庫	岡山市		
			まちなみ保存地区	岡山県		
			足守プラザ	岡山市		
			洪庵さくらまつり、利玄もみじまつり	岡山市、近水観光協会ほか		

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称	
	対象地域				
	岡山市水道関連施設	明治 38 年、地方都市としては異例の早さで通水を開始。吉村長策の設計。第 1 水源取水口、普通沈殿池、緩速ろ過池、半田山配水池、京橋水管橋など開業当時の施設が現役で稼働。美しい煉瓦造の旧動力室は水道記念館として、半田山配水池は半田山植物園として公開されている。	水道施設の文化財登録・指定	岡山市	・岡山市ＨＰ
	岡山市中心部		水道記念館	岡山市	
			半田山配水池・半田山植物園	岡山市	
	児島湾の干拓	江戸時代の岡山藩・津田永忠による沖新田の開発をはじめ、明治時代からは、大阪の豪商藤田伝三郎による大規模干拓が開始。戦後は国営事業として昭和 38 年まで続き、合計約 2 万 ha の農地が干拓によって作られた。沖新田には干拓地特有の農具、民具が残され、地元有志の収集により現在、政田民俗資料館で公開されている。明治以降の干拓地は、大規模な機械化農業の導入で農業近代化のモデルケースであった。藤田は、藤田伝三郎から名付けられた地名で、伝三郎太鼓など藤田伝三郎を顕彰する活動も盛ん。江戸期の石造樋門、明治期の煉瓦造の樋門、昭和初期の RC 樋門など各時代の土木遺産が良好に残されている。	政田民俗資料館	岡山市、地域住民	・広報用ビデオ（中四国農政局）
	岡山市（操南地区・妹尾興除地区・藤田地区・瀬崎地区）		歴史的建造物の保護	岡山市、地域住民、土地改良区など	
			干拓地資料の収集	岡山県、岡山市、興陽高校ほか	
			傳三郎太鼓		
	西大寺観音院と会陽	西大寺観音院は天平勝宝 3 年（751）藤原皆足姫が金岡の郷に庵を開基し、千手観音を安置したのがはじまりと伝えられる古刹。会陽は正月修正会の結願の祭りで「はだかまつり」として有名。本堂御福窓から投下される宝木をはだかの群衆が争奪する。かつては多くの神社仏閣で会陽が執り行われていたが、現在まで続くものは数少ない。	西大寺会陽	会陽奉賛会、西大寺観音院	・岡山市ＨＰ ・西大寺観音院ＨＰ
	岡山市（西大寺地区）				
岡山県笠岡市①	白石踊	白石踊（国指定重要無形民俗文化財）	白石踊	白石踊会、笠岡市島おこし海援隊	・白石踊 ・記録ビデオ ・伝承者養成テキスト ・笠岡市の文化財紹介冊子
			地元のお寺の法要で踊る	白石踊会	
			観光のための白石踊	白石踊会	
			子ども着付け教室	白石踊会	
			白石踊出前講座	白石踊会	
			地元中学校での踊りの指導	白石踊会	
			踊りの写真・資料の収集、整理	白石踊会	
	大島地区の盆踊り	大島の傘踊り（県指定重要無形民俗文化財）	老人クラブ総会アトラクション出演	大島の傘踊り保存会	・大島の傘踊り ・記録保存報告書 ・笠岡市の文化財紹介冊子
			地元小・中学校での指導	大島の傘踊り保存会	
			公民館クラブ活動での指導	大島の傘踊り保存会	
			地元での盆踊り大会	大島の傘踊り保存会	
			岡山子ども郷土芸能フェスティバル出演	大島の傘踊り保存会	
	金浦のヒツカカ・おしぐらんご	金浦のヒツカカ（市指定重要無形民俗文化財）、金浦のおしぐらんご（市指定重要無形民俗文化財）	ヒツカカ	金浦ヒツカカ・おしぐらんご保存会	・記録保存報告書 ・指定のための調査記録 ・笠岡市の文化財紹介冊子
			おしぐらんご	金浦ヒツカカ・おしぐらんご保存会	
	北木島の流し雛	北木島の流し雛（市指定重要無形民俗文化財）	流し雛	北木島流し雛保存会	・指定のための調査記録 ・笠岡市の文化財紹介冊子
	真鍋島の走り神輿	真鍋島の走り神輿（市指定重要無形民俗文化財）	走り神輿	八幡祭り保存会	・指定のための調査記録、記録ビデオ ・笠岡市の文化財紹介冊子
	笠岡市真鍋島				
	神島天神祭	神島天神祭（市指定重要無形民俗文化財）	天神祭	天神祭保存会	・指定のための調査記録 ・笠岡市の文化財紹介冊子
木山捷平の出身地	木山捷平生家。同地区出身の作家・木山捷平の生家があり、笠岡市では「木山捷平文学選奨」を行っている。	顕彰活動（研究本の作成など）	にいやま「文化を楽しみ育てる会」	・著作物 ・図書館にて資料収集など ・木山捷平生家紹介パンフレット ・木山捷平文学選奨	
		詩碑の清掃	にいやま「文化を楽しみ育てる会」		
		木山捷平文学選奨	（財）笠岡市文化・スポーツ振興財団		
		木山捷平顕彰コーナー	笠岡市立図書館		
笠岡市山口					

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ			
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称				
	対象地域							
岡山県吉備中央町①	950 年の歴史を誇る加茂大祭や吉川八幡宮の当番祭	大祭の発祥地域では、地域住民が大祭神話について認知しており、この大祭の存続に関わる神社の維持管理、祭事の継承を保存会や親から子へ、また孫へと口伝えによって、大切に守り継がれてきている。	加茂芸能保存会	加茂芸能保存会、吉川八幡宮当番祭保存会	・獅子舞、笛、棒使い、お神輿など			
吉備中央町加茂市場、吉川	各神社保存会		各神社保存会					
	お祭り会館		教育委員会					
	パンフレット		教育委員会					
	加茂大祭日程表		町観光協会					
	文化財講座		教育委員会、町内公民館					
	学校による郷土学習		町内各小学校					
岡山県吉備中央町②	加茂大祭	加茂大祭	お祭り会館	吉備中央町				
吉川八幡宮当番祭 吉川地区 川合神社夏祭り「だし」 下竹地区	パンフレット作成		吉備中央町					
	ビデオ作成		文化財保存会					
	パンフレット		文化財保存会					
	岡山県高梁市①		全国一高いところにある現存する山城のあるまち	明治の廃城令のときに、取り壊しから逃れ、今もなお当時の姿を伝えている「備中松山城」は国指定の重要文化財として全国にその名を発信している。 住民はこれを守り伝えるという使命感に燃え、今もなおお城を中心としてまちづくりが支えられている。		備中松山踊り	観光協会、商工会議所	・全国一高いところにある現存する山城のあるまち
			高梁市内山下（旧高梁市）			南 5 門の復元、渡り廊下の復元	高梁市	
ベンガラの里		石火矢町ふるさと村整備	高梁市、町内会					
高梁市成羽町吹屋（旧成羽町）		昔銅の精錬で栄えた吹屋のまちは、今でも往時の街並みを色濃く残しており、伝統的建造物群の指定を受け、その保存活用に努めている。 また、ベンガラは遠く海外でも吹屋のものが使われているなど、近時ベンガラの再生が進みつつある。	街並み保存	高梁市	・ベンガラの里			
備中神楽発祥の地		最近では、大人だけでなく子供も練習に打ち込んでおり、地域を代表する伝統芸能となっている。 各地域の祭りごとの際に奉納され、子供からお年寄りまでもが誰でも楽しめる神楽となっている。	旧家の復元整備	高梁市	・備中神楽発祥の地			
高梁市全域	備中神楽の伝承活動	各同好会						
岡山県勝央町①	金太郎伝説	勝央町平地区には、金太郎こと「坂田金時」を祀る栗柄神社があります。平安時代中頃の将軍、源頼光の四天王の 1 人として九州討伐に向かう途中、熱病にかかり、この地で亡くなったと言われています。この伝説に基づいて、毎年 8 月下旬に町をあげて「金時祭」を開催し、多くの方で賑わいます。また、地域の芸能文化として「勝央金時太鼓」があり、来年で創設 20 周年を迎えます。小・中・高校生、保存会を合わせて約 100 人が太鼓を打ち鳴らしています。このように、祭りや太鼓、神社の保存など、「金時」は地域住民によって受け継がれているため。	金時祭	勝央町、金時祭実行委員会	・勝央町誌			
勝央町（平地区）	金時太鼓		勝央町、金時太鼓保存会					
岡山県瀬戸町①	中世東大寺再建用瓦の生産地としての誇り	中世に、東大寺再建用の瓦が焼かれたことを地域住民が認知している。また、再建で中心的役割を果たした俊乗坊重源にゆかりの史跡、伝承が瓦窯近隣に残っており、町史跡として指定されている。（重源施湯跡、銅精錬所跡）	史跡公園整備	瀬戸町、瀬戸町教育委員会	・発掘調査 ・調査報告書の刊行 ・解説資料等の作成、HP で紹介等			
瀬戸町（万富地区）	古代山城大廻小廻山城のある地としての誇り		史跡指定	瀬戸町、瀬戸町教育委員会		・発掘調査（岡山市） ・解説資料の作成等		
瀬戸町（観音寺・笹岡・宿奥地区）	宗堂桜の里としての誇り		宗堂さくらまつり	宗堂区、瀬戸町観光協会	・町観光パンフレット掲載、HP で紹介			
瀬戸町（宗堂地区）	三谷金剛童子に対する誇り		三谷公園もみじまつり	南方区、瀬戸町観光協会		・町観光パンフレット掲載、HP で紹介		
瀬戸町（南方地区）	世界的人形師：竹田喜之助生誕の地		昭和 63 年より「人形劇の祭典喜之助フェスティバル」を開催され、師の遺業を後世に伝え、人形劇の魅了を通して、地域文化の発展と人形劇を愛する人々の交流が行われている。	人形劇の祭典喜之助フェスティバル	喜之助フェスティバル実行委員会		・グラビア絵本「喜之助人形」の刊行	
瀬戸内市邑久町尾張	喜之助記念室		瀬戸内市教育委員会					
	喜之助フェスティバル記念室		竹田喜之助顕彰会					

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称	
	対象地域				
岡山県英田郡西栗倉村①	平安の昔から瀬戸内側と日本海側の連絡の要衝としての誇り	歴史の道 100 選にも指定されている「志戸坂峠」	パンフレット等の作成	西栗倉村	・西栗倉の文化財（H17 年度刊行予定）
	西栗倉村				
	7000 年前から綿々と住み続けてきた誇り	縄文前期の土器が出土。	パンフレット等の作成	西栗倉村	・西栗倉の文化財（H17 年度刊行予定）
	西栗倉村				
岡山県倉敷市①	古い町並みが残る地域としての誇り	太平洋戦争後の住民ら先覚者を中心とした自主的な町並み保存を経て、昭和 43 年からは全国に先駆けて町並み保存の自主条例を制定し、住民・市民と行政が一体になって江戸時代後期以来の景観を保ち続けているため	伝統的意匠に沿った家屋等の修繕	個人など	・『くらしきたゆたう幻想』『倉敷未来への遺産』
	倉敷市（美観地区）		重要文化財の公開	個人など	・『倉敷川畔伝統的建造物群保存基本計画報告書』
	祭囃子を伝承している地域としての誇り	しゃぎりと呼ばれている祭囃子は、少なくとも江戸時代後期から伝承されてきた。各地区独自の拍子は秘曲扱いとされてきたが、太平洋戦争後、すべての節を奏じることのできる地区が僅かになった。そのため秘曲を公開し、保存会を結成して後継者の育成をはかりはじめた。現在も各地域ごとにしゃぎりの伝承に切磋琢磨し続けており、伝統の祭囃子が良好に伝承され続けている。	しゃぎり(祭囃子)	鴻八幡宮祭りばやし保存会	・保存会編『琴浦の祭りとだんじり』
	倉敷市（児島琴浦地区）		しゃぎりの伝承	鴻八幡宮祭りばやし保存会	
岡山県倉敷市②	将棋において様々な大記録を有した偉大な棋士である大山康晴 15 世名人の出身地	倉敷市の生んだ不世出の棋士、文化功労者・大山康晴十五世名人の偉業を顕彰するため、平成 5 年に関係資料等を常設展示する記念館を設置。同年に日本将棋連盟の女流棋士公式タイトル戦である「大山名人杯倉敷藤花戦」を創設し、以来、毎年決勝対局を開催し、第 13 期を数える。 その他、全国の小学生のタイトル戦「倉敷王将戦」を開催するなど、将棋文化の普及と振興の拠点となっている。 また、同じく大山名人ゆかりの地として将棋文化を通じた町づくりを行っている青森県百石町と交流を有し、平成 16 年に百石町が整備した「大山将棋記念館」と友好館提携を行っている。	倉敷市大山名人記念館	倉敷市	
	倉敷市		大山名人杯倉敷藤花戦	倉敷市・倉敷市文化振興財団・日本将棋連盟	
			全国小学生「倉敷王将戦」	倉敷市・倉敷市文化振興財団・日本将棋連盟	
			小・中学生将棋道場	倉敷市	
岡山県倉敷市③	明治詩壇の巨匠である薄田泣菫の出身地	住民の自発的・積極的な顕彰活動や市への働きかけにより、薄田泣菫の生家を市が保存し平成 15 年に公開。 以来、薄田泣菫顕彰会により地元小・中学校生徒による泣菫の朗読会が開催されるなど、今まで郷土の偉人でありながら薄田泣菫について知識を有していなかった市民やへの浸透も図られている。	薄田泣菫生家（記念館・資料館として公開）	倉敷市、薄田泣菫顕彰会	
	倉敷市（連島地区）		薄田泣菫詩朗読会	薄田泣菫顕彰会	
			薄田泣菫詩碑	倉敷市、薄田泣菫顕彰会	
		書道教育の頂点に立つ井上桂園の出身地	早くから各種書道展の最高賞を次々に獲得し中央書壇に確固たる地位を築き、昭和 26 年からは国定教科書を執筆するなど、書道教育の多大な功績を有する井上桂園の業績をたたえ顕彰するため、作品を展示するとともに、小学生による書道展などを開催している。	泣菫忌	薄田泣菫顕彰会
	薄田泣菫遺品等資料の保存			倉敷市、薄田泣菫顕彰会	
	井上桂園遺作展（常設）			倉敷市	
岡山県総社市①	力石	総社市には江戸末期に奉納された力石がある。力石は生活や労働の中で力比べに使われていたといわれている。昔の生活は力仕事が多く米俵一俵を担ぐことが、一人前の条件だった。米俵にみたてた石「力石」を持ち上げ、運ぶ儀式が継がれている。夏の風物詩であるこの行事は 1 歳から 70 歳代の男女 250 名程度が集まるとともに、婦人会等の団体が炊き出しなど行事を盛り上げている。	力石	「力石総社」実行委員会	・力石、総社宮
	総社市内				
	雪舟生誕の地及び宝福寺	世界的に周知された画聖雪舟は総社市赤浜で出生した。市内にある宝福寺で涙でネズミを描いたという逸話を残している。雪舟を顕彰し墨彩画公募展をビエンナーレで開催している。	墨彩画公募展	総社市文化振興財団	・墨彩画公募展 ・宝福寺
	総社市内				
	鬼ノ城（温羅伝説）	663 年に唐・新羅に白村江で大敗した日本は北九州から瀬戸内沿岸、畿内にいたる防衛陣地の構築をはかった。鬼ノ城もそうしたものの一つと考えられている。現在は西門、角楼などが復元され当時の様子をうかがわせている。また、鬼ノ城には温羅伝説があり、市民劇団や備中温羅太鼓などが心のよりどころとして活動している。	火の祭り	鬼ノ城・温羅の火と阿曾の会	・市民劇団温羅 ・備中温羅太鼓 ・温羅伝説
	総社市内阿曾地域		備中温羅太鼓	備中温羅太鼓	
			市民劇団「温羅」	市民劇団「温羅」	
			鬼ノ城たたら倶楽部	鬼ノ城たたら倶楽部	
吉備路	総社市南部吉備路には作山古墳、こうもり塚古墳などの大きなものから小さなものまで、多数の古墳が点在している。また備中国分寺、備中国分尼寺跡などの歴史的史跡も多く残り、県内唯一の五重塔をシンボルに古代吉備の繁栄を今に伝えている。	れんげ祭り	レンゲ祭り実行委員会		
総社市南部					

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称	
	対象地域				
	福山城跡	1336 年に九州から攻めあがってきた足利尊氏の弟直義の軍勢を 新田義貞の武将大井田氏経が福山城で迎え撃った。現在ではウ ォーキングコースの一つとなっている。	西郡地踊り	西郡地踊り保存会	・地踊り
	総社市南部				
	湛井十二ヶ郷用水				
	総社市内				
岡 山 県 奈 義 町①	横仙歌舞伎	昭和 41 年に保存会が有志により結成され、町職員の専門員採用 もあり、地域で保存伝承に努めている。	歌舞伎公演	横仙歌舞伎保存会	・四季にそれぞれ公 演を実施 ・昭和 41 年から保存 会ができ、町職員 に専門員も採用 し、伝承に努める
	全町		回り舞台の設置		
			パンフレットの作成		
			看板の設置		
		歌舞伎教室の開催			
	大銀杏	法然上人が修行に来たとき刺した杖が、大きく育ったといわれ る銀杏の木	説明板の設置	文化財保護委員会	・樹齢 900 年の大銀 杏で、大切に扱わ れている
全町	玉垣の設置				
岡 山 県 備 前 市①	備前焼	日本六古窯として一千年の歴史を持ち、人間国宝を輩出し、岡 山県のアンケートにおいても、岡山県といえば「備前焼」が最 も著明であるため	備前焼まつり	備前焼陶友会ほか	・首相官邸ロビーの 陶壁ほか
	備前市内		かべりだいまつ	伊部区会	
	備前市消防団日生方面 隊出初式	備前市日生町の出初式であり、他に類を見ない独特の勇壮な放 水合戦で、地域の風物詩となっている。	小学校における焼き 物の授業	伊部小学校ほか	
			備前市日生町	源平放水合戦	
	田倉牛神社大祭	江戸時代初期から農耕の神様として振興が始まり、備前焼で焼 かれた牛 1 つ借りて帰り、願いがかなうごとに 1 つ追加して返 す習わしになっている。	ひなせ甚九郎市	ひなせ甚九郎市実行 委員会	
			田倉牛神社大祭	福満地区	
	備前市吉永町				
	岡 山 県 美 作 市①	宮本武蔵生誕地	伝宮本武蔵宅跡(県指定史跡)、宮本武蔵の生誕地として地域の シンボルとしている。	宮本武蔵顕彰剣道大 会	宮本武蔵顕彰会
美作市宮本(旧大原町)		武蔵祭り		武蔵祭り実行委員会	
雪峰後山		県内最高峰の山。修験道の霊場として女人禁制を守り、県内外 から訪れる人が多い。9 月には、道仙寺において大護摩供養が行 われている。また、珍しい動植物が多く生息している。	道仙寺大護摩	道仙寺	・行者山、登山、大 護摩供養
美作市後山(旧東栗倉 村)					
林野安養寺会陽		美作市指定無形民俗文化財。県内でも数少ない裸祭りを現在も 行っている。子ども会陽を実施している。大人の会陽では、県 内各地から参加者が集まる。	安養寺会陽	安養寺会陽奉賛会	・裸祭り
美作市林野(旧美作町)					
顕密寺五大力餅会陽		会陽のはじまりが、檀家や地域住民の供えた餅から発生してい る。会陽には、県内外から参加者が集まる。	顕密寺五大力餅会陽	顕密寺五大力餅会陽 奉賛会	・力自慢
美作市尾谷(旧英田町)					
梶並神社当人祭			梶並神社当人祭	梶並神社氏子	・厄除け、安全祈願
美作市梶並(旧勝田町)					
長福寺		国指定重要文化財。地域シンボルとして住民に認識されている。			・真木山への道 ・国重文の三重塔
美作市真神(旧英田町)					
少林寺拳法祭り		開祖の生誕地として、道場や研修施設の少林寺拳法記念館など がある。毎年春先には、桜祭りと一緒に行って、少林寺拳法関 係者と地域住民の交流の時間となっている。	少林寺拳法祭	少林寺拳法連盟岡山 県支部、作東道院	・少林寺拳法記念館 の設置
美作市江見(旧作東町)					
粟井春日歌舞伎		美作市指定無形民俗文化財。毎年 10 月に地域の子とも歌舞伎と 大人の歌舞伎の公演を行っている。	粟井春日歌舞伎大寄 せ公演	春日歌舞伎保存会、 粟井小学校児童	・歌舞伎舞台春日座
美作市粟井中(旧作東 町)					
天曳神社宮原獅子舞		岡山県指定無形民俗文化財。	宮原獅子舞	天曳神社宮原獅子舞 保存会	・宮原獅子舞伝承館 の設置
美作市宮原(旧作東町)			江見商業高校獅子舞 同好会	宮原獅子舞保存会、 江見商業高校獅子舞 同好会	
林家		国指定重要文化財。地域シンボルとして住民に認識されている。			・国重文の民家
美作市中谷(旧東栗倉 村)					
岡 山 県 矢 掛 町①	矢掛の宿場まつり「大名 行列」	旧山陽道の宿場町である矢掛町には、日本唯一、本陣、脇本陣 がともに国の重要文化財に指定され、今もなお現存している。	大名行列	矢掛町商工会	・ＨＰ ・ポスター ・パンフレット
	矢掛商店街				

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ	
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称		
	対象地域					
岡山県里庄町①	仁科芳雄博士の生誕の地としての誇り	仁科芳雄博士は、明治 23 年 12 月 6 日里庄町に生まれた。東京帝国大学工学部電気工学科を卒業し、理化学研究所に入り研究生となると同時に東京大学大学院に進学した。留学先で「クライン・仁科」の公式を完成して世界的に有名になった。帰国後は、理化学研究所主任研究員となって仁科研究室を主宰して新しい物理学研究の中心となった。湯川秀樹博士、富永振一郎博士ら後進の指導に心血を注ぐなか、サイクロトロンを完成させた。仁科芳雄博士の業績は町民の誇りであるとともに、生活の中に受け継がれている。	仁科賞	科学振興仁科財団(里庄町・里庄町教育委員会)	・まんが仁科芳雄博士物語 ・仁科芳雄博士より弟にあてた手紙等 ・里庄町ＨＰ	
			中学生国内・海外派遣研修	科学振興仁科財団(里庄町・里庄町教育委員会)		
			仁科芳雄賞	科学振興仁科財団(里庄町・里庄町教育委員会)		
			海外派遣研修	科学振興仁科財団(里庄町・里庄町教育委員会)		
	里庄町		仁科芳雄博士顕彰科学講演会	科学振興仁科財団(里庄町・里庄町教育委員会)		
岡山県里庄町②	小川郷太郎博士の生誕の地としての誇り	小川郷太郎博士は、明治 9 年 6 月 9 日里庄町で生まれた。東京帝国大学政治学科を卒業して、大蔵省に入省し新設の京都帝国大学経済学部を迎えられた。大正 13 年に大学を辞して政治家となった。民政党岡山県支部長、浜口内閣の大蔵政務次官、広田内閣の商工大臣、近衛内閣の鉄道大臣となり、第 2 次大戦中ビルマ政府の最高顧問として財政再建にあたった。小川郷太郎博士の業績は町民の誇りであるとともに、生活の中に受け継がれている。	小川賞	小川郷太郎博士顕彰会(里庄町・里庄町教育委員会)	・小川郷太郎伝 ・里庄町ＨＰ	
						里庄町
	大原踊り		文化 2 年(1805 年)、大原の住民が伊勢神宮参拝の折、二見が浦で前踊りを踊ったのが、大原おどりのはじまりと言われる。昭和 25 年 7 月に「大原おどり保存会」が結成されて以来、主に毎年 8 月のお盆に供養おどりとして踊られている。	不動院由加祭催事	不動院	・里庄町誌
				夏まつり里庄	夏まつり里庄実行委員会	
				慰霊祭	大原おどり保存会	
	霊山寺催事	霊山寺				
	厚生体育大会	里庄町・里庄町教育委員会				
里庄町						
鳥取県大山町①	重要文化財門脇家住宅周辺の町並み		伝統的建造物群保存地区	教育委員会	・建造物紹介パンフレット	
	大山町(所子地区)					
	鳥取県日野町①	古墳の分布	特に、町内の岩田地区では、竪穴式住居等が発見され、古代人が暮らしていたことが確認されています。	発掘調査、	日野町	・発掘調査
	黒坂、下榎、岩田、平ら、榎市など	平安時代、この地に流された長谷部信連公により再建されたと伝えられる長楽寺。安置される平安時代作とされる 5 体の仏像は、全国でも傑作といわれる国の重要文化財です。左右には、十二神将があり、当時の仏教文化を偲ばせます。	町観光パンフレットに掲載	日野町	・年代特定、補修等	
	長楽寺、5 体の仏像					
	下榎		町有形文化財指定	日野町		
	祇園橋		町観光パンフレット掲載	日野町		
	根雨					
	鳥取県日野町②		出雲街道根雨宿	日野町を通る国道 181 号は、その昔、地方の人が大阪、東京方面に行き来する唯一の道として発展、地域文化に大きな影響を与えた。江戸時代には、「出雲街道」と呼ばれ、松江藩の殿様が参勤交代をする重要なルートになっていました。本陣の門など、根雨の町並みにその風情を残すほか、間地峠には、旧道や峠茶屋跡が今も見られます。	町観光パンフレットに掲載	日野町
	根雨	全国で一ヶ所しかない縁起の良い名前の神社。太平記で一躍注目をあびた後醍醐天皇が隠岐島から脱出された際、天皇に従って船上山へと義兵を挙げた金持景藤が、必勝祈願をしたと伝えられています。開運・金運を求めて多くの参拝者が訪れます。	まちなみ保存	出雲街道根雨宿まちなみづくり研究会	・獅子舞奉納	
	金持神社		町観光パンフレット掲載	日野町		
	金持		獅子舞奉納	金持自治会		
	城・要害					・遺跡分布調査
	貝原、根雨、高尾、金持、濁谷、別所、津地、舟場、下黒坂、黒坂、上菅、久住					
	泉龍寺(因藩二十士)		町観光パンフレット掲載	日野町		
	生田長江		日野町出身の文豪。明治・大正時代の指導的な評論家であり、優れた翻訳家・小説家・劇作家でもありました。	町観光パンフレット掲載		日野町
	根雨					

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ	
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称		
	対象地域					
	荒神神楽	日野高等学校郷土芸能部が荒神神楽上演活動をしている。以前は、久住・板井原にも社中があったが、現在は受け継がれていない。	各種イベントでの講演	日野高等学校	・日野高等学校郷土 芸能部	
	黒坂、久住、板井原					
	近藤家、たたら、根雨公会堂	根雨近藤家は、製鉄事業で財を成し、工場を増設・拡大して、大鉄山師・大山林地主近藤家を確立した。また、大鉄山師としての事業に専念するだけでなく、大庄屋として民政につとめ、農業の振興、荒地の開墾をはかり、植林をすすめて林業経営者の先達となった。他面、教育事業、公共博愛の事業にも力をつくし、根雨の町並みを見下ろす丘の中腹に1、200人を収容する公会堂を寄付。現在も歴史民族資料館として使われている。	日野町観光パンフレット掲載	日野町	・古文書等の調査研 究	
	根雨		神話とたたらを里を訪ねる旅	日野郡広域観光推進協議会		
	カワコ（河童）伝説	黒坂光明寺付近の日野川に「かわこ淵」と呼ばれる淵がある。昔ここに一匹のカワコが住んでいて、いたずらをして付近の人を困らせていた。ある日、光明寺の和尚に生け捕りにされたカワコは、岩に己の姿を刻まれ、その姿が消えるまで陸に上がらぬと約束させられた。どうしても姿を消すことができず、カワコはどこかへ逃げてしまったと伝えられる。	町民ミュージカル	実行委員会	・光明寺のカッパ（町 民ミュージカル）	
	黒坂					
鳥取県日野町 ③	滝山神社、竜王滝	その昔、黒坂村に住む大工の女房のおかつが賭けをして、深夜滝山神社へ行き、拝殿前の賽銭箱を持ち帰ったが、背負っていた子供の首が無くなっていた。この伝説は、小泉八雲が、「幽霊滝」として紹介してから一躍有名になった。	町観光パンフレット掲載	日野町		
	中音		滝山公園紅葉マツタケ祭り	紅葉マツタケ祭り実行委員会		
				滝山公園ツツジ祭り		日野町観光協会
	鵜の池	池についての由来や、様々な伝説が残っている。池の北側山林内には、古い寺跡（長楽寺跡）があり、大山寺と事を構え敗滅したと伝えられる。	町観光パンフレット掲載	日野町		
	下黒坂		鵜の池マラソン大会	鵜の池マラソン大会 実行委員会		
	島根県飯石 郡飯南町①	那須与一ゆかりの地としての誇り	地域に那須与一の墓とされる古墓や「与一原」という遺構地がある。住民の多くが那須姓であり那須与一の子孫の流れをくむものであるという意識を持っている。遺構地に案内板の設置や顕彰活動を地元関係者で行っている。	看板の設置		八神地区与一原集落
飯南町八神地区		史跡の整備		八神地区与一原集落		
		研修会の開催		八神地区与一原集落		
由来八幡宮頭屋祭行事の伝統を守る地域としての誇り		由来八幡宮の頭屋祭行事は地域の住民が輪番制で支え、伝統を継承している行事である。地区によっては一生に一度、その順番が巡ってくる地区（頭屋地区という）もある。また、地区の中でもその年の神が宿をとる家は一軒で、その年の春からその神に奉仕する。つまり頭屋地区の頭屋宿になる確率はさらに少ない。「今年の頭屋は〇〇地区の△△さんだ」といって地域では語り合い、行事を守ってきている。	頭屋祭行事の執行	その年の頭屋組		
飯南町頼原地区を中心とした地域						
鳥田権兵衛ゆかりの地としての誇り		鳥田権兵衛は恩顧の主君への忠義を貫き、勝てるはずのない毛利元就の大軍に戦いを挑んだ忠義の士である。地区内にある加田城は鳥田権兵衛の居城とされ、地域内のシンボリック存在である。地位の住民はこの侍の行動を誇りと考えており、鳥田権兵衛を顕彰する催しなどを行っている	案内看板の設置	下米島地区	・加田城郭の研究	
飯南町下米島地区			登山道の整備	下米島地区		
				調査研究活動		下米島地区
後鳥羽上皇ご遷幸の地としての誇り		承久の乱に破れ、隠岐の島に流配になる途中、都加賀地区の隠岐ノ郷山からこれから行く隠岐の島を眺められたという伝説がある。地域には国王原、殿居、隠岐原などの地名が残っている。地域の人々は、案内看板の設置、隠岐ノ郷山の登山道の整備などの活動を行っている。	案内看板の設置	都加賀地区	・パンフレット	
飯南町都加賀地区			登山道の整備	都加賀地区		
				パンフレットの作成		都加賀地区
女亀山と玉依姫伝説の地としての誇り		上赤名地区にある女亀山には、この地域の祖神的存在の玉依姫の伝説が伝わっている。また、貴重な蝶として保護されているギフチョウの生息地として、また日本海へ注ぐ神戸川の源流地の一つとして知られている。地域ではこの伝承地・環境を守る活動を行っている。	登山道の整備	上赤名地区		
飯南町上赤名地区			ハイキングの実施	上赤名地区		
尼子十旗としての誇り		中国地方の覇権をかけ毛利氏と尼子氏が争っていた戦国時代、尼子十旗の四番目として名をはせた赤穴氏が、居城としていた瀬戸山城がこの地域あります。大内・毛利の大軍を相手に奮戦した赤穴氏の戦いぶりは今でも語り継がれています。	案内看板の設置	飯南町		
飯南町赤名地区			登山道の整備	飯南町・赤名地区		
島根県飯石郡 飯南町②		奥飯石神職神楽を継承する地としての誇り	奥飯石神職神楽は神々の国・出雲に伝わる神楽の一つである。古来神楽は神職によって舞われ、神に奉納されてきた。戦後多くの神楽は神職の手を離れたが、奥飯石神楽伝承者はこれを堅持した。今日まで地域に伝承されてきた神楽を忠実に守り伝えている。	神楽大会の実施	奥飯石神職神楽保持者会	・パンフレット
		飯南町		パンフレットの作成	奥飯石神職神楽保持者会	
島根県安来市 ①	安来節発祥の地としての誇り	安来節保存会：全国に72支部・4、200名を擁す、全国一の民謡団体。	安来節全国優勝大会	安来節保存会	・民謡安来節	
	安来市		安来節の普及宣伝	安来節保存会		

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ			
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称				
	対象地域							
	尼子氏の城下町としての 誇り	戦国時代に出雲地方を率いた尼子氏の城下町。尼子氏の居城月山富田城跡・山中鹿介の伝説などがある。	歴史学習会（ガイド養成講座）	出雲尼子を興す会	・山中鹿介の銅像 ・大河ドラマ「毛利元就」 ・「尼子燃ゆ！」（旧広瀬町出雲尼子を興す会） ・山中鹿介の絵本・紙芝居 ・富田城跡観光パンフレット、安来市HP ・尼子氏・山中氏関係各種書籍			
	安来市広瀬町		幸盛祭	広瀬公民館				
			鹿介を語るタベ	広瀬公民館				
			尼子特産市	広瀬町観光協会女性部				
			総合学習	広瀬小学校				
			手作り鐘兜教室	出雲尼子を興す会				
島根県雲南市①	和歌発祥の地としての 誇り	須佐之男命（スサノオノミコト）が八岐大蛇（ヤマタノオロチ）を退治し、稲田姫を娶られた際、雲南市・須我の地（現雲南市大東町）にて日本初の和歌を詠んだという故事がこの地域に根付いているため。その故事にちなんで、出雲ほむらく炎＞短歌賞が行われている。	出雲ほむらく炎＞短歌賞	出雲銅鐸文化ほむらフォーラム・島根県短歌連盟等	・短歌賞の開催			
	雲南市（旧大東町）							
	「平和を」の都市としての 誇り					永井隆平和賞	雲南市	・永井記念館館蔵品写真集 ・永井隆平和賞
	雲南市（旧三刀屋町）					そして、毎年9月には永井隆平和賞を行っている。		
島根県雲南市②	古代出雲王国の郷（出雲神話伝承の地）	1級河川斐伊川流域を中心にやまたのおろち神話の地や古代出雲王国を裏付ける史跡が発見されている。 やまたのおろち神話では、おろちの潜んでいた場所や酒を呑んだ場所など多数の地が現存するとともに、その伝承に基づく神楽が盛んな地域である。 また、加茂岩倉遺跡では一度に全国最多の39個もの銅鐸が発見されるなど、数多くの史跡が発見されている。	加茂岩倉ガイダンス整備	雲南市	・神楽多数 ・観光パンフなどを通じた史跡・建造物の紹介			
	雲南市		出雲国・加茂2000年プロジェクト	出雲国・加茂2000年プロジェクト				
			神楽の里整備	雲南市				
			地域の祭りにおける神楽上演・保存伝承	各神楽社中				
			神原神社古墳神宝まつり	神原神社古墳神宝まつり実行委員会				
			銅鐸の響き加茂弥生まつり	銅鐸の響き加茂弥生まつり実行委員会				
			たたら製鉄による鉄の歴史	この地域では、古くからたたら製鉄が盛んに行われてきた地域であり、圏域単位で鉄の歴史と歩んできた。 その製鉄技術は高く評価されており、近代製鉄に転換するまで、日本の鉄文化を支えてきた地域として全国的に高く評価されている。		鉄の歴史博物館	財団法人鉄の歴史村地域振興事業団	・たたら製鉄の再現 ・観光パンフなどを通じた史跡・建造物の紹介
			雲南市吉田町			鉄の未来博物館	財団法人鉄の歴史村地域振興事業団	
山内生活伝承館	財団法人鉄の歴史村地域振興事業団							
古代鉄歌謡館	雲南市							
島根県奥出雲町①	ヤマタノオロチ神話発祥の地	「古事記」や「日本書紀」にある八岐の大蛇退治の舞台の地であることを地域住民が認知しており、町内にある船通山、斐伊川、稲田姫神社、酒、神楽など神話にまつわるものを地域の人々が大切に守り伝えている。	龍燈神楽	龍燈神楽	・神楽 ・ヤマタノオロチ神話のアニメ ・記念碑			
	奥出雲町		パンフレット作成	町				
			船通山登山道・記念碑整備	町、観光協会				
			稲田姫神社周辺整備	地元自治会				
	たたら	「たたら」とは砂鉄と木炭を原料に和鉄を生産するわが国古代の製鉄法で、日本刀はたたら製鉄でできた「玉鋼」をもとに作られる。地域住民にとって、世界に誇れる伝統文化であり、町内には、現在も操業を行う「日刀保たたら」、奥出雲たたらと刀剣館、たたら角炉伝承館、絲原記念館、可部家集成館がある。 一説にはヤマタノオロチ伝説はたたら製鉄にまつわる背景を神話化したものといわれている。	ミニたたら	町内小学校、中学校、町文化協会、町など	・太鼓 ・記録映像			
	奥出雲町		炭焼き	町内小学校				
			カンナ流し	町内小学校				
			太鼓	仁多乃炎太鼓				
			日本刀鍛錬見学	町				
			そろばん	そろばん交流	町	・記録映像		
	奥出雲町	そろばん授業	町内小学校					
		そろばん制作体験	町内小学校、雲州そろばん協同組合					
そろばん制作見学		町、雲州そろばん協業組合						
島根県出雲市①	歴史上の人物の思想	湖陵地域（旧湖陵町）は、「暁の超特急」と呼ばれた世界的な陸上短距離選手・吉岡隆徳氏の生誕地である。 旧湖陵町では、氏のスポーツ精神を受け継ぎ、島根県内で初めてスポーツ少年団を結成し、吉岡氏が生涯を貫いて示したひたむきな精神と努力の姿を地域住民だれもが誇りに思っており、平成15年には、湖陵総合公園に「吉岡隆徳顕彰像」が建立された。	吉岡隆徳顕彰記念事業	吉岡隆徳顕彰記念事業協賛会	・「わが人生一直線」ブロンズ像			
	出雲市湖陵地域							

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称	
	対象地域				
	寺社の町・弁慶伝説	平田地域には、鰐淵寺や一畑薬師をはじめ、歴史ある寺社が数多く存在しており、それらは、地域住民の心の拠り所として、また、重要な観光資源として愛されている。 また、各神社で奉納される神楽や獅子舞などの伝統芸能は、親から子へ受け継がれ、地域住民の生活の一部となっており、中には数百年の歴史を持つものもある。鰐淵寺に残る弁慶伝説も、地域のシンボリックな位置付けがなされている。	「出雲国神仏霊場」 巡礼パンフレット	社寺連座の会	・ 出雲神楽、石見神楽 ・ 弁慶関連漫画等
	出雲市平田地域全域		観光パンフレット	出雲市、出雲観光協会	
			いずも八百万神酒まつり	いずも八百万神酒まつり実行委員会	
			弁慶まつり	弁慶まつり実行委員会	
			弁慶うおーく	弁慶うおーく実行委員会	
			イメージキャラクター「弁太くん」作成	平田商工会議所	
	神楽・獅子舞	各地区神楽保存会、獅子舞保存会等			
	木綿街道	平田町は、かつて木綿の集散地として栄えたが、往時の賑わいを彷彿とさせる妻入土蔵造の町並みが、平田町内の片原町・新町に現在も残っている。これらの町並みは、現在「木綿街道」という名で親しまれており、地域活性化を図った様々なイベントが開催される他、平田の原風景として、また、重要な観光資源として地域住民から親しまれている。	木綿街道イベント	木綿街道の会	・ パンフレット ・ H P
	出雲市平田町		「木綿街道交流館」 整備・運営	出雲市	
				木綿街道周辺整備 (道路・河川)	
島根県出雲市 ②	佐香（酒）の郷	平田地域東部一帯は、かつては「佐香郷」と呼ばれ、出雲国風土記に「180 人の神々が集い、酒を醸し、180 日にわたって酒宴を続けた地」として記されており、この地に建つ「佐香神社」も古くから醸造の神を祭る神社として信仰を集めている。 この神社では、特別に境内での濁酒醸造が許可されており、例祭ではその酒が参拝者に振舞われる。また、当地域は多くの「出雲杜氏」を輩出しており、県内外にその名声を留めている。	佐香神社例大祭	佐香神社	・ 出雲神楽、石見神楽
			いずも八百万神酒まつり	いずも八百万神酒まつり実行委員会	
			酒文化交流会	酒文化交流会実行委員会	
			平田地区利酒研究会	平田地区酒造研究会、出雲市	
			島根の地酒パンフレット作成	島根県酒造組合連合会ほか	
	スサノオ伝説	佐田地域には、須佐之男命を主祭神とする「須佐神社」があり、出雲国風土記にも「須佐之男命がこの地域に御霊を鎮められたため『須佐』という」と記されている。これは、須佐神社への信仰とともに広く住民に熟知されており、また、スサノオにまつわる神話や神楽なども多く残っており、地域住民の心の支えとなっている。	出雲神楽	佐田地域内 13 の神楽保存会	・ 和太鼓、歌舞伎、神楽 ・ スサノオ伝説の映像 ・ イメージキャラクター
			スサノオスビリッツ	佐田町文化協会	
			スサノオ館	出雲市	
			創作和太鼓	さだ須佐太鼓	
			須佐之男命と稲田姫のモニュメント	出雲市	
	出雲市佐田地域	イメージキャラクター	出雲市		
		歌舞伎	出雲歌舞伎むらくも座		
伝統芸能を伝承する祭り	地域文化を宣揚し、後世に伝えるために、地域内の伝統文化や歴史的建造物、文化財等を記録した冊子の編集や、文化活動拠点である文化伝習館等の活用を積極的に行っている。また、各地区の保存会を中心として「花馬」、「田植囃子」、「神楽」など、古くから伝わる伝統芸能の伝承を行っている。	神楽	小田神楽保存会、多岐神楽保存会、田儀神楽保存会、久村伝統文化保存会	・ 神楽、田植囃子、花馬、神事花	
		田植囃子	奥田儀田植囃子保存会		
		花馬	田儀花馬保存会		
安子神社御田植安産神事	4 月 8 日に行われる神事で、春の氏神祭りは予祝の意味が強く、お田植えの神事は、大地と人との共感をもとに、大地が作物を生み出すように人間の出産を結び付けている。全国でも例のない神事であり、人々の生活も安定したものであって欲しいと願われている。この祭りは極めて古く、農耕文化固有の信仰につながるものであると考えられている。	安子神社御田植安産神事	安子神社氏子	・ 御田植安産神事	
		出雲市湖陵町常楽寺地区			
吉兆神事	大社地域に古くから伝わる（少なくとも 200 年以上前）神事で、新年 1 月 3 日に氏子が町内の氏神や出雲大社、千家・北島国造家に出向き、『吉兆』と称する幡を立て、大社神謡を謡い、新年の祈りを捧げる伝統行事である。地域住民により大切に守られ、永きに渡り引き継がれている。	吉兆神事	町内会	・ 吉兆神事	
		出雲市大社地域	吉兆館		出雲市
島根県出雲市 ③	大土地神楽	少なくとも江戸時代中期から現在に至るまで、二百数十年の永きに渡り地域住民の手によって保存・伝承されています。大土地荒神社例祭での公演をはじめ、出雲大社への奉納、様々な行事での公演、また、平成 4 年にはアメリカ公演、平成 5 年にはフランス公演を行うなど、地域文化の保存・伝承はもとより、地域文化の向上、国内外への情報発信に寄与する活動がなされている。	大土地神楽	大土地神楽保存会	・ 大土地神楽
	出雲市大社地域				

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称	
	対象地域				
	出雲阿国	『歌舞伎の始祖』として知られる“出雲阿国”生誕の地として、平成 15 年には“出雲阿国”生誕 400 周年として様々な記念事業が開催されたのをはじめ、出雲阿国の偉業を称え、顕彰を図る取り組みが活発に行われており、地域の中に根付き、受け継がれている。	阿国祭り	出雲阿国顕彰会	・阿国踊り ・出雲阿国歌舞伎 ・研修会の開催 ・『出雲大社と阿国さんのまちから』 ・『出雲阿国物語』、パンフレット
	出雲市大社地域		阿国踊り	商工会婦人部など	
			出雲阿国歌舞伎大お練り・奉納舞	出雲市、出雲阿国座 振興財団	
			出雲阿国パンフレット	出雲市	
			本の作成（『出雲大社と阿国さんのまちから』『阿国物語』）	出雲阿国顕彰会	
			全国地歌舞伎交流大会	大社まちづくり振興公社	
	出雲大社	出雲大社の門前町として栄え、出雲大社の祭事等に合わせた生活文化と伝統が息づく、出雲大社と永く深いかわりのある地域である。	大祭礼	出雲大社	・大社神謡、大社音頭 ・国引き神話のレリーフ ・パンフレット、カレンダー、 ・町史他
	出雲市大社町 杵築地区		涼殿祭	出雲大社	
			献穀祭	出雲大社	
			神在祭	出雲大社	
			吉兆神事	出雲大社	
			出雲国門前市	大社商工会	
	西谷墳墓群	弥生時代終わりごろから古墳時代にかけての大墳墓群で、墳丘墓が 27 基、土壌墓、石棺墓も 5 基ある。その巨大な墳丘墓は、巨大な権力の象徴と考えられ、古代出雲に強い権力を持った人がいたことの裏付けとも言え、古代ロマンを感じさせる。地域のボランティアも積極的に活動し、年数回の清掃活動、史跡ガイドへも多くの方が参加している。	パンフレット作成	出雲市	・パンフレット ・調査報告書
			古代出雲王国館建設事業	出雲市	
			ボランティアガイドの活用	出雲市ボランティアガイドの会	
	出雲神話（スサノオ、ヤマタノオロチ、國譲り、國引き）・・・古事記、出雲國風土記	ヤマタノオロチやスサノオなどは、日本を代表する神話であり、神楽の演目にもなっている。 小説、アニメの題材にも使われることもある。	神話の夢舞台“出雲”スローガン	出雲市	・市販の書籍等 ・神楽の演目 ・神話を題材にした紙芝居、絵本 ・島根県作成の神話教材
出雲地域			神話の國フェスティバル	神話の國フェスティバル実行委員会	
			島根県出雲市④	田儀櫻井宮本鍛冶山内遺跡	
出雲市多伎町奥田儀地区	出雲神楽	現地説明会	出雲市		
出雲市内		パンフレット作成	出雲市		
		出雲神楽	無形文化財発表会	無形文化財連絡協議会	・例祭、国民文化祭、海外公演など ・出雲神楽の特集出版物、HP
出雲市内	各地区祭礼	各地区町内会及び無形文化財団体			
佐志武神社奉納神事華、佐志武神社奉納神事舞	毎年 10 月 18・19 日の両日行われる神事で、地域が一体となつてこの伝統を受け継いでいる。	佐志武神社祭礼	湖陵地域の各地区町内会及び無形文化財団体	・例祭	
出雲市湖陵町	大槻七兵衛の功績	学校での教育	出雲市教育委員会	・出版物	
大槻七兵衛の功績					
出雲市内					
島根県松江市①	お茶文化の継承	松江城大茶会	山陰中央新報社		
		不昧公好老舗会めぐりツアー	不昧公好老舗会		
		和菓子モダンプロジェクト	MATSUE 和菓子モダンプロジェクト推進協議会		
		菓子づくり体験	まちづくり工房・TMO松江		
		茶道流派へ茶会等への補助	松江市文化協会		
		観光案内所での茶室設置	(社)松江観光協会		
	松江市全域	神在月まつえ文化・観光月間	神在月まつえ文化・観光月間実行委員会		

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称	
	対象地域				
	日本神話発祥の地としての誇り	国創り、国引きなど日本神話の大半が出雲地方で発祥している。この地方では旧暦の10月を神在月と呼び、八百万の神々が集まるという言い伝えは現在もお市民の中に受け継がれている。	ルートづくり事業	松江市	
			史跡ガイドのボランティア	出雲国まほろばガイドの会	
	出雲地方全域		縁結び関連事業	神話の国縁結び観光協会	
島根県松江市②	日本一の古代の玉の生産地	出雲は古代において、わが国有数の玉生産地で、全国各地へ供給された。弥生時代から平安時代まで長期にわたり玉作りを行った。その中心が松江市玉湯町の花仙山周辺であった。この山は、古代が好んで玉の材料とした緑色の石、碧玉の産出地であり、ほかにもメノウを産出する。	出雲玉作資料館の建設	出雲玉作資料館、観光協会	・玉湯なんでも大事典
	松江市玉湯町	花仙山の周辺には、勾玉や管玉など各種玉類生産した70箇所を超える玉作り遺跡が分布している。3箇所が国史跡に指定され、そのうちの一つは出雲玉作史跡公園として整備されている。めのう細工は、江戸時代の末期に若狭から技術を導入してはじまり、現在も出雲みやげとして珍重されている。			
島根県松江市③	玉造温泉	玉造温泉は、わが国でも最古の温泉であり、奈良時代の中ごろに編纂された「出雲国風土記」には、すでに「川辺の出湯」として記されている。たくさんの人々にぎわい、お湯につかると誰もが美男美女になり、すべての病が治るとされ、人々から「神の湯」と呼ばれていた。	観光客の誘致	観光協会、商工会、旅館組合	玉湯なんでも大事典・湯の助さんと白鹿
	松江市玉湯町	平安時代の「枕草子」にも、ありまの湯、ななくりの湯とともに、遠く都にも聞こえた温泉であった。江戸時代には、湯治場として、近郷近在の人々に繁盛した。松江藩から「湯之助」役が温泉管理者として委嘱され、元湯や公衆浴場の維持、旅籠の統制に心血を注いだ。松江藩の別荘「御茶屋」も置かれ、たびたび藩主が静養に訪れた。現在も全国各地からの入湯客で賑わっている。	温泉の歴史の普及活動	出雲玉作資料館、地区自治会	
	布志名判官義綱	義綱は玉湯町布志名の地頭であった。隠岐に配流された後醍醐天皇の警護にあたったが、天皇の隠岐脱出を助けることになった。以後天皇の側近となり、新任厚く、若狭国守護まで上り詰めた。天皇に反旗を翻した足利尊氏と京都で戦い、1336年に戦死した。布志名地区に義綱の墓（市指定史跡）があり、近くには顕彰碑が建てられている。昭和10年代には、神社を建設する計画もあったが、敗戦で頓挫した。	歴史の普及活動	出雲玉作資料館	玉湯なんでも大事典
	松江市玉湯町				
島根県東出雲町①	黄泉比良坂伝説発祥地としての誇り	イザナギ、イザナミの国生み神話の舞台の一つが町内に伝わる。揖屋地区にある黄泉比良坂伝説地の石碑がそれで、あの世とこの世の境がこの付近にあったという伝説が町内には伝わっている。石碑の近辺には『出雲国風土記』に登場した揖夜神社があり、これらが中心となって、黄泉の国の入口であると考えられている。この伝説を題材にしたミュージカルがかつて上演された。	ミュージカル「黄泉比良坂」	東出雲町ふるさと発見実行委員会	・東出雲町夜話 ・ミュージカル『黄泉比良坂』 ・絵本「黄泉比良坂」 ・東出雲町HP、パンフレット
	日本三大船神事ホーランエンヤ開催地としての誇り	12年に1度開催される日本三大船神事の一つ「ホーランエンヤ」で町内にある阿太加夜神社は主な会場となる。松江市の城山稲荷神社から出発した船行列は阿太加夜神社近辺で上陸し、神社まで陸行列が行われ、神事が行われる。祭り当日、沿道は珍しい祭りを見物する観光客であふれる。12年に1度の開催の祭りであるため、地域も盛り上がり、祭りを支える姿勢が誇りとなっている。	ホーランエンヤ	阿太加夜神社	・東出雲町夜話 ・東出雲町HP、パンフレット
	東出雲町出雲郷地区				
	こだいじ（盆踊り）伝承の誇り	町内下意東地区には「こだいじ」という盆踊りの唄が伝わり、毎年お盆にはそれに合わせて盆踊り大会が行われる。この「こだいじ」の保存会を地元住民が立ち上げ、唄と踊りの保存、伝承に地域一体となって取り組んでいる。	盆踊り大会	意東公民館、こだいじ保存会	こだいじ保存会
	東出雲町下意東地区				
島根県斐川町①	荒神谷遺跡	1984年斐川町荘原地区神庭に銅剣358本、翌年銅矛16本、銅鐙6個が発見。古代出雲にはどのような国、文化があったのか全国的にも注目を集める。荒神谷博物館、荒神谷史跡公園では古代米田植え等さまざまなイベントがおこなわれ、町民の誇りとなっている。	荒神谷博物館	斐川町、NP0法人出雲学研究所	・パンフレット、書籍、ホームページ
	斐川町				
	築地松のある田園風景	築地松のある散居景観は出雲地方独特の美しい農村景観で、斐川町民の自慢の風景である。	築地松の消毒助成 築地松の伐倒補助 苗木の無料配布 築地松保全の啓発	築地松所有者 築地松所有者 築地松所有者 斐川町	・パンフレット、書籍、ホームページ
	斐川町				

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ
	名 称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み名称	
	対象地域				
島根県斐川町②	神話にまつわる神社・地名・祭り	万九千社、湯の川温泉、大黒山等、神話にまつわる神社・地名・祭りごとが数多く存在する。	万九千神社祭礼	万九千神社	・パンフレット、書籍、ホームページ
	斐川町		姫の湯まつり	湯の川温泉旅館組合	
島根県斐川町③	荒神谷遺跡	昭和 59 年と 60 年に荒神谷遺跡から大量の銅剣、銅鐙、銅矛が発見され町内外の古代史ファンに大きな衝撃を与えた。地元住民も天から降ってわいた出来事に驚き、騒動の中で戸惑いもあった。その後これらの青銅器は平成 10 年に国宝に指定され、今年オープンした荒神谷博物館で里帰り展示をすることになった。町民にとっては大いなる誇りとなり、観光資源の中心ともなっている。	荒神谷博物館	斐川町、NPO 出雲学研究所	・荒神谷月見の会で雅楽 ・いずも神話紙芝居 ・史跡公園・博物館紹介用図録 ・チラシ、パンフレット

【東九州地域】

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
大分県杵築市①	坂道のある城下町「杵築」	譜代松平藩時代に城下町の形成がなされ、近年、武家屋敷群の修復保存を行い、地域住民はもとより観光客が訪れている。（大原邸、磯矢邸、勘定場の坂、酢屋の坂等）	お城祭り	お城祭り実行委員会	・観光パンフレット ・観光ＨＰ
			城下町健康歩行ラリー	城下町健康歩行ラリー実行委員会	
	杵築市（旧杵築市地区）		城下町杵築散策と雛（ひいな）めぐり	城下町杵築散策と雛めぐり実行委員会	
			観光パンフレット	杵築市	
	「山香郷」としての民族文化	里神楽、立石楽、供養盆踊り等	山香神楽	山香神楽舎、上小神楽クラブ	・山香神楽 ・山香町の文化財
			立石楽	立石楽保存会	
	杵築市（旧山香町地区）		山香盆踊り	山香盆踊り保存会	
白鬚田原神社どぶろく祭・和銅３年よりつづく独自の文化	地域住民が、どぶろく祭りを認知しており、地域の伝統を大切にしていると考えられるため。	歩道の整備	大分県	・観光パンフレット ・観光ＨＰ	
		駐車場の整備	杵築市		
		観光パンフレットの作成	杵築市		
大分県大分市①	戦国大名、大友宗麟と大友氏遺跡	大友氏は宗麟の代に黄金期を迎え、本拠地である豊後を中心に豊前、筑前、筑後、肥前、肥後、日向の北半分、杵岐、対馬など、九州六カ国二島を従え「九州王」とまで呼ばれるようになった。キリシタン大名としてキリスト教を保護し、南蛮貿易をして府内の栄光を築いた。現在、発掘が進められている「大友氏館跡」は平成 13 年に国史跡の指定を受け、平成 17 年には旧万寿寺地区を加え、史跡名称も「大友氏館跡」から「大友氏遺跡」に改められた。	パンフレット等での紹介	大分市	・遠藤周作著『王の挽歌』 ・赤瀬川隼著『王国燃ゆ』 ・大友宗麟の彫刻（銅像） ・2004NHK「大友宗麟～心の王国を求めて～」 ・大友氏遺跡の発掘調査 ・文化財だより ・大分市ＨＰ
	府内大友フェスタ		府内大友フェスタ実行委員会		
	鶴崎踊（国選択無形民俗文化財）	豊後の国主「大友宗麟」が一時酒色にふけり政治を省みなかった時に、これを見かねた重臣の戸次鑑連が諫めようとしたが、勘気が強く容易に近づけなかった。そこで何とか面接の機会を作ろうと思い、京都より踊り子を呼んで踊らせたところ、やっと宗麟の気持ちも和らぎ、功を奏したと伝えられている。この時、踊られたといわれる踊りは、その後鶴崎を中心として広く豊後国内に伝わり「鶴崎踊」と呼ばれるようになった。現在も「本場鶴崎踊り大会」として継続されている。	本場鶴崎踊大会	大分市、大分市観光協会、鶴崎おどり保存会	・鶴崎踊「猿丸太夫・左衛門」（国選択無形民俗文化財） ・ケーブルＴＶ放映 ・鶴崎踊り紹介パンフレット ・大分市ＨＰ
	亀塚古墳	亀塚古墳は 5 世紀初めに造られた、県下最大規模の前方後円墳である。古くから海部王（あまべのきみ）の墓であると伝えられており、日本書紀にもこの地に「海人部」が設置されていた記録があり、海部民の首長が埋葬されたのではないかとされている。平成 8 年に国の指定史跡に登録された。毎年、古代衣装を身に着けた地域住民などが海・山・川の幸を奉納する儀式として「海部のまつり」を行っている。	亀塚古墳公園整備事業	大分市	・文化財だよりの発行 ・大分市ＨＰ
			海部古墳資料館	大分市（教育委員会）	
			海部のまつり	海部のまつり実行委員会	
今市の参勤交代道路	肥後藩主が参勤交代の道路として整備した肥後街道今市宿の一部で、県指定史跡となっている。幅 8 メートルの中央部分 2 メートルが石畳になっており、かつてはその両側に宿場が形成され、本陣、脇本陣、茶屋、代官所、酒場などが軒を並べていた。	観光パンフレット等での紹介	大分市	・大分市ＨＰ	
大分市（旧野津原地区）		今市石畳参勤交代道路整備事業	大分市（旧野津原町）		
大分県大分市②	野生ザルの生息地高崎山	高崎山の歴史は古く、万葉集に四極山（しはつやま）として登場しており、中世には高崎山山頂に大友氏の城が築かれていた。400 年ほど昔からニホンザルが棲んでいたと「豊府紀文」に記されている。昭和 27 年に当時の大分市長がホラ貝を使って餌付けに成功し、昭和 28 年 3 月に高崎山自然動物園が開園、同年 9 月に阿蘇国立公園（現瀬戸内海国立公園）に編入、11 月に猿及び猿の生息地が天然記念物に指定されて現在に至っている。	高崎山おさる館建設	大分市	・「ただいま零匹」（火野葦平） ・ただいま零匹（1957 松竹） ・高崎山だより ・大分市ＨＰ、紹介パンフレット
			さるっこレール（モノレール）	大分市	
	大分市		高崎山自然観察コース	大分市	
			高崎山おさる講座	高崎山管理公社	
	後藤家住宅	18 世紀中頃の建築と見られ、県内で最古の遺構の一つで、特色ある軸部構造を持つ民家。茅葺き寄棟造りで、懐かしさを感じさせてくれる国指定重要文化財である。	茅葺き屋根ふきかえ等整備事業	大分市（旧野津原町）	・大分市ＨＰ
	大分市（旧野津原地区）				
	関の鯛つり唄	元禄の頃から唄い継がれてきた「一本釣り漁業の労働唄」である。昭和になり、鯛つり唄に合わせた踊りも生まれ、関の鯛つり踊り大会は現在でも開催されている。昭和 41 年の大分国体開会式では「関の鯛つり踊り」がマスコームとして披露された。	関の鯛つり踊り大会	関の鯛つり踊り大会実行委員会	・「関の鯛つり唄」CD ・「関の鯛つり踊り」の教習ビデオ ・大分市ＨＰ
大分市（旧佐賀関地区）					

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	関崎灯台	1901 年佐賀関半島の突端、豊予海峡を見下ろす断崖の上に建てられた、現存する県内最古の灯台。100 年経った今も実際に使用されている。灯台の白さが青い海に映えてとても美しく、関崎海岸からは対峙する佐田岬灯台や四国連山も眺望でき、「せとうち風景 30 選」にも選ばれている。設置当初常駐していた灯台守の宿舎跡には桜が植えられ、春になると見物客で賑わう。	観光パンフレット等での紹介	大分市	・大分市HP	
	大分市（旧佐賀関地区）		遊歩道等整備事業	大分市（旧佐賀関町）		
大分県日出町①	城下カレイ	出来事：江戸時代、将軍への献上品とされていた。ある時、生きたまま献上しようとし、250 両もの大金がかかったという記録もある。 史跡：陽谷城址	城下かれい祭り	城下かれい祭り実行委員会		
	日出町内の陽谷城の下の海中を中心とした別府湾					
大分県日出町②	全国でも数少ない豊臣秀吉係累の大名ゆかりの地としての誇り	豊臣秀吉係累の大名は、日出藩木下家と足守木下家（岡山県）の 2 家のみといわれている。日出町内には、日出藩木下家ゆかりの文化財が数多くのこされ、地域の人々によって大切に守られている。	日出藩木下家に関わる文化財の保護	日出町・文化財所有者	・歴代藩主を題材とした小説 ・木下家に関わる文化財紹介（HP・書籍など）	
	日出町		陽谷城址周辺の文化財散策ルート整備	日出町		
	郷土の碩学・帆足萬里を生み出した町としての誇り		帆足萬里に関わる文化財の保護	日出町・文化財所有者		・小学生を対象とした学校教材、パンフレット
	日出町		帆足萬里忌辰祭	日出町		
				パンフレット		
大分県別府市①	別府観光の先覚者“油屋熊八翁”	愛媛県宇和島市出身。斬新的なアイデアと実行力、おもてなしの精神で、別府観光の礎を築いた人物として別府市民から広く愛され、市民の誇りとしてたたえられる観光の先駆者。別府市の中心地に位置する別府公園内には、記念碑が設置さえ、毎年 1 回碑前祭が開催される。また、観光関係者を中心に愛媛県への墓参行事も毎年行われるなど、油屋熊八翁の精神は現在も市民に広く受け継がれている。	油屋熊八翁碑前祭	油屋熊八顕彰会	・記念碑（写真入）	
	別府市		油屋熊八翁墓参ツアー	油屋熊八を偲ぶ会		
			油屋熊八市民学校事業	別府観光促進協議会		
			油屋熊八紹介冊子「地獄のある都市」	（社）別府市観光協会		
大分県豊後高田市①	地域に伝わる伝統文化・伝統行事	地域に伝わる伝統文化や行事が残っており、それぞれ地域の人たちの手で大切に継承されてきており、地域の住民が熟知している。	ホーランエンヤ	ホーランエンヤ保存会	・有寺神楽、見目神楽、夷里神楽 ・HP・観光パンフ ・各種イベントへの出演（草地おどり）	
			若宮八幡社秋季大祭（裸祭り）	裸祭り保存会（陸組、川組）		
			草地おどり	草地おどり保存会		
			天念寺修正鬼会	天念寺修正鬼会保存会		
	豊後高田市		有寺神楽	有寺神楽保存会		
			見目神楽	見目神楽保存会		
			夷里神楽	夷里神楽保存会		
大分県豊後大野市①	御嶽神楽発祥の地としての誇り	資源（御嶽神社・宇田姫伝説・神楽大会など）理由（大分県南部地域に広く分布する神楽発祥の地であること。町を挙げての神楽大会や子ども神楽団体の活動が盛んである事等）	神楽大会	御嶽流神楽大会実行委員会	・御嶽神楽 ・御嶽神楽調査研究報告書の作成（H17 年度完成予定） ・書籍「御嶽神楽」 ・調査報告書「御嶽神楽調査研究報告書」	
			能場公園	旧清川村		
			神楽保存	御嶽神楽保存会		
			神楽調査保存	御嶽神楽調査研究委員会		
	豊後大野市清川町		神楽保存	御嶽子ども神楽		
大分県豊後大野市②	緒方三郎惟栄ゆかりの地としての誇り	資源（緒方三郎館跡）理由（源平合戦時代の源氏方の武将として平家物語にも記述がある。緒方町内に関連の伝説が数多く残っている。慰霊祭など市民主体の行事が行われている。総合学習の一環として緒方町内小・中学校児童生徒が必ず学習している。）	緒方三郎惟栄慰霊祭	緒方町文化財研究会	・「平家物語」 ・書籍「源平の雄緒方三郎惟栄」 ・緒方町誌	
			調査研究活動	緒方町文化財研究会		
	豊後大野市緒方町		総合学習時間での地域の歴史学習	豊後大野市教育委員会文化財課		
大分県豊後大野市③	守護・戦国大名大友氏ゆかりの地としての誇り	資源（史跡常忠寺・史跡勝光寺）理由（市民を中心とした大友顕彰会の活動。総合学習の一環として大野町内小・中学校児童生徒が必ず学習している。）	調査研究活動	大友顕彰会	・大分県大野町史	
			総合学習時間での地域の歴史学習	豊後大野市教育委員会文化財課		
	豊後大野市大野町中部地区					
大分県豊後大野市④	4 画聖「雪舟」ゆかりの地としての誇り	資源（沈壁の滝）理由（市民を中心とした組織「雪舟会」における顕彰活動。ゆかりの地としての市民水墨画家の養成活動。水墨画総合学習の一環として大野町内小・中学校児童生徒が必ず学習している。他県の雪舟ゆかりの地との連携行事「雪舟サミット」への参加）	調査研究活動	雪舟会	・「鎮田瀑園」雪舟作のレプリカ	
			雪舟まつり	雪舟まつり実行委員会		
			総合学習時間での地域の歴史学習	豊後大野市教育委員会文化財課		
			水墨画教室	大野町水墨画教室（自主活動）		

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
大分県由布市①	由布川峡谷	東洋のチロルとも呼ばれ、大分川に流れ込む由布川の上流 12km に延々と続く幻想的な渓谷。奇岩と水の織りなすその様は「大分百選」にも選ばれ神秘的な美しさに満ちている。また、数多くの伝説があり、地元住民の誇りである。	由布川峡谷まつり	由布市・別府市	・古人より（挾間町の伝説と民話） ・伝説を伝える絵本 ・紹介パンフレット
	由布市挾間町朴木・内成地区		観光パンフレット掲載	由布市	
			由布市立挾間図書館	由布市教育委員会・図書館ボランティア	
			由布川峡谷整備	由布川峡谷開発促進協議会	
大分県由布市②	男池湧水群	黒岳の北麓に位置する男池湧水群は、阿蘇野川の源流部で、環境庁の日本名水百選にもえらばれている。日本名水百選にも選ばれた「男池」と炭酸ガスを含む「白水鉱泉」などがある。その湧水をはぐくむ黒岳は日本の自然百選に選定され高山植物の宝庫である。また、そのような自然を地元住民はとても誇りにしている。	黒岳山開きとシャクナゲまつり	庄内町観光協会	・紹介パンフレット
	由布市庄内町阿蘇野地区		男池周辺整備	由布市・庄内町観光協会	
			観光パンフレット掲載	由布市役所	
	庄内神楽	12 の神楽座を有し、大人から子供まで地域全体で取り組んでいる。古くは安永 7 年（1778 年）の社家衆団の神楽奉納であるが、今の形になったのは明治初期で、一般の氏子などによる同好会的神楽舞衆団が組織された。現在は、4 月から 10 月まで毎月第 3 土曜日の「定期公演」と文化の日の「庄内神楽祭り」等々があり活発に活動している。	庄内神楽定期公演	神楽座長会	・庄内町誌 ・12 の神楽座の公演 ・紹介パンフレット等
			ミステリアスライブ・イン庄内	神楽座長会	
			由布市庄内町	庄内神楽祭り	
宮崎県佐土原町①	町指定無形民族文化財		巨田神楽	巨田神楽保存会	・神楽の歴史・内容が分かる紹介パンフレット
	佐土原町（巨田地区）				
宮崎県佐土原町②	日向国の中心として栄えた町としての誇り	昨年、国指定史跡となった「佐土原城跡」、国指定重要文化財「木造騎獅文殊菩薩及脇侍像（五軀）附木造天蓋 1 面等の指定文化財や歴史のある寺社、神社が町中に沢山点在しており、それらを大切に守っている。	佐土原城跡歴史資料館	佐土原町教育委員会	・乾峯士墨墨蹟等の中世文書 ・木造騎獅文殊菩薩及脇侍像（五軀）附天蓋 1 面等の仏像 ・巨田神楽、佐賀利いろは口説き踊り ・佐土原城跡の調査研究 ・佐土原町の文化財、佐土原城跡歴史資料館パンフレット ・巨田池の鴨越
			佐土原町歴史民俗資料館	佐土原町教育委員会	
			佐土原町歴史民俗資料館の清掃	新五上地区	
			文化財愛護少年団	佐土原町立佐土原小学校	
			巨田神楽	巨田神楽保存会	
			巨田池の鴨越	鴨越保存会	
	佐土原町（上田島地区）		佐賀利いろは口説き踊り	佐賀利いろは口説き踊り	
宮崎県西都市①	国指定特別史跡西都原古墳群	西都原には 311 基の古墳があり、中には陵墓参考地も存在する。史跡はもとより観光やイベントの名所としても市民の憩いの場となっている。古代ロマンを感じさせるイベントとして「西都古墳まつり」が毎年開催され、ふるさとイベント大賞も受賞した。	西都古墳まつり	西都古墳まつり実行委員会	・西都市教育委員会による調査研究報告書など ・パンフレット
			ガイダンスセンターこのはな館	西都市観光協会	
			西都原考古博物館	宮崎県教育委員会	
			菜の花、コスモスの花植え	西都市	
			観光パンフレット	西都市	
			教育課程での学習	西都市教育委員会	
	伊東満所生誕の地	天正遣欧少年使節団として 13 歳にしてローマへ赴き、法皇に謁見した偉業を成し遂げた伊東満所の生誕の地が都於郡地区である。彼の功績は地域住民にも語り継がれており、地元の小中学校でも授業に取り入れられている。	平成遣欧少年使節海外派遣事業	西都市	・パンフレット
			天正遣欧少年使節ゆかりの地中学生体験交流事業	西都市	
			教育課程での学習	西都市教育委員会	
宮崎県椎葉村①	狩猟儀礼	椎葉村に残る狩猟儀礼は昔から受け継がれた物であり、地域独自の考え方が根付いている。狩猟に携わる者はこの儀礼を大切に受けついでおり、そのことが地域住民の考え方を形成する 1 つとなっていると考えられるため	狩猟の伝承		・放送局が過去放送した狩猟の映像 ・椎葉民俗芸能博物館に紹介されている狩猟文化 ・村HP、パンフレット等、出版社が出している書籍
	椎葉村内各地		椎葉民族博物館への展示		
			『後狩詞記』の現代版出版		

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称		
	対象地域				
	椎葉神楽	椎葉神楽は村内各地に残っており、ほとんどが集落単位で大切に伝承されてきており、地元住民の生活における大切な位置づけになっていると考えられるため。	神楽の伝承		・椎葉神楽 ・放送局が過去放送した狩猟の映像 ・椎葉民俗芸能博物館に紹介されている神楽 ・村HP、パンフレット等、出版社が出している書籍
	椎葉村内各地		椎葉民族博物館への展示		
			神楽連合会への必要経費の助成		
			積極的な村外公演		
			HP、パンフレット上での紹介		
	平家落人伝説	平家落人伝説に関連するものとして、『鶴富姫伝説』『八村杉』など多くの物がありいずれも、地元の方々が大切に守り伝承してきたものである。また、近年はそれを生かした地域作りを進めるなど、地域作りを進める上での根底の1つになっている。	椎葉民族博物館への展示		・出版者が出している書籍 ・ひえつき節 ・椎葉平家まつり ・歴談会の資料 ・村HP、パンフレット等、出版社が出している書籍
	椎葉村内各地		史談会での語り継ぎ		
			HP、パンフレット上での紹介		
			同伝説を利用した積極的なPR		
	焼畑	昔から伝えられてきた物であり、日本で行われているところも少ない。近年はこの文化を地元の小学生が授業の一環として学ぶなど、焼畑を通じて様々な取り組みが行われている。	椎葉民族博物館への展示		
	椎葉村向山地区		小学校の授業への組み込み		
			HP、パンフレット上での紹介		
宮崎県日南市①	飫肥の町並み	飫肥藩伊東家五万一千石の城下町。九州で最初の重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、地方における城下町の典型として、市民の誇りとなっている。城下には、江戸時代初めの地割りが現在もおお良好に遺されており、街路に面した石垣、門、生垣が町並みの特徴となっている。また、飫肥地区には町並み以外にも飫肥城や庭園群など、見るべきものが多い。	伝統的建造物群保存事業	日南市	・柳田国男著『海南小記』、山頭火日記 ・飫肥ロマン ・飫肥町並み写真他 ・泰平踊り、弥五郎人形行事 ・NHK連続テレビ小説「わかば」 ・映画「石井十次」 ・町並み保存対策調査 ・「飫肥歴史紀行」
	日南市飫肥地区		旧伊東伝左衛門家整備公開	日南市	
			旧山本猪平家整備公開	日南市	
			飫肥城下まつり	飫肥城下まつり実行委員会	
			生涯学習講座開催	日南市教育委員会	
			古民家活用の民具展示、喫茶店、料亭	めぐり棒、服部亭	
			小村寿太郎生家整備公開	日南市	
			観光ガイドボランティア	日南市観光ガイドボランティアの会	
	油津の町並みと堀川運河	中世に日明貿易の拠点となった油津は、日向神話の神武天皇の後のアヒラツヒメがなまって油津と呼ばれるようになったといわれている。江戸時代前期に堀川運河が開削され、明治から大正、昭和初期にかけて、飫肥杉とマグロの水揚げで大いに栄えた。当時に築造された堀川橋（石橋）や木造三階建ての杉村金物本店やレンガ造り倉庫などが登録文化財として市民に親しまれている。	堀川まつり	堀川まつり実行委員会	・山頭火日記 ・マグロ音頭、堀川音頭他 ・堀川運河絵、写真 ・吾平津神社獅子舞 ・男はつらいよ「寅次郎の青春」(第45作)他 ・観光資源保護調査 ・「油津—海と光と風と—」他
	日南市油津地区		堀川運河整備（歴史的港湾環境創造事業）	宮崎県	
			油津赤レンガ館保存運動	合名会社油津赤レンガ館	
			油津地区街路整備（身近なまちづくり街路支援事業）	日南市	
			チョロ船復元	チョロ船を復元する会	
			油津港まつり	油津港まつり実行委員会	
			堀川運河保存運動	油津堀川運河を守る会	
			全国町並みゼミ	全国町並みゼミ日南大会実行委員会	
	鵜戸神宮	日向神話の海幸、山幸物語の舞台となった場所であり、古代より鵜戸神宮を中心に航海の安全や安産などを祈願する人が多い。海に面した岩窟内の本殿は県文化財。	鵜戸山剣道大会	日南地区剣道連盟	・鵜戸神宮写真 ・鵜戸神宮本殿調査報告書 ・鵜戸神宮HP
日南市鵜戸地区（日南海岸）	シャンシャン馬道中唄全国大会		シャンシャン馬道中唄全国大会実行委員会		
	日南海岸国定公園指定50周年記念事業		日南海岸国定公園指定50周年記念事業実行委員会		
	鵜戸山を見て歩こう会		鵜戸山をかつしやる協議会		

市町村	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
宮崎県日南市 ②	坂元棚田	全国棚田 100 選や重要文化的景観の候補地であり、飫肥杉の美林に囲まれた美しい棚田である。地域の村おこしグループを中心に、官民協働で棚田ボランティアや棚田オーナー制度、棚田まつりや石垣修理の研修会など多彩な活動がある。	せせらぎの里坂元棚田まつり	酒谷地区村おこし推進協議会	・TV「砂の器」 ・パンフレット	
			棚田オーナー制度	酒谷グリーンツーリズム協議会		
			石垣清掃ボランティア	酒谷グリーンツーリズム協議会		
			石垣積教室	酒谷グリーンツーリズム協議会		
			全国棚田サミット	全国棚田「千枚田」連絡協議会		
			稲刈りボランティア	酒谷グリーンツーリズム協議会		
	日南市酒谷地区（坂元）					
	小村寿太郎の誠の精神	飫肥藩出身の明治の外交官。外務大臣として日英同盟や日露戦争講和のポーツマス会議で全権として困難な講和をまとめた。1911 年には関税自主権を回復した。国を愛し、「誠」の精神をもってこれらの大きな実績をあげた小村寿太郎侯は市民の誇りとして学校教育をはじめ市民生活の中にも受け継がれている。	国際交流センター小村記念館建設	日南市	・小村寿太郎侯銅像、肖像画他 ・演劇「ジュタロー」 ・「小村寿太郎」、NHK「その時歴史は動いた」 ・まんが小村寿太郎 ・小村寿太郎小伝	
			小村寿太郎侯銅像建立	小村寿太郎侯奉賛会		
			日露交歓コンサート	小村寿太郎侯奉賛会		
			日露戦争史国際シンポジウム開催	小村寿太郎侯奉賛会		
			小村寿太郎小伝刊行	小村寿太郎侯奉賛会		
			小村寿太郎侯漫画本刊行	小村寿太郎侯奉賛会		
			『骨肉』出版	小村寿太郎侯奉賛会		
			ポーツマス姉妹都市交流	日南市		
	日南市飫肥地区					
飫肥城	昭和 49 年から昭和 54 にかけて、市民の寄附を中心とした飫肥城復元事業により、旧藩校振徳堂、大手門、歴史資料館、松尾の丸などが、修理、復元された。その後の塀復元や、城下の各種公開施設整備の先駆けとなり、昭和 52 年の重要伝統的建造物群保存地区選定と相まって、「歴史と文化のかおる都市」日南の中心的な歴史的景観地区として市民の誇りとなっている。	飫肥城復元事業	飫肥城復元促進協力会	・飫肥城写真 ・泰平踊り ・NHK連続テレビ小説「わかば」 ・映画「男はつらいよ寅次郎の青春」 ・飫肥城跡発掘調査報告書 ・「飫肥歴史紀行」		
		飫肥城下まつり	飫肥城下まつり実行委員会			
		『飫肥歴史紀行』印刷	財団法人飫肥城下町保存会			
		飫肥城の除夜の鐘をつく会	財団法人飫肥城下町保存会			
		泰平踊伝承（飫肥小学校）	本町泰平踊保存会			
日南市飫肥地区						
鹿児島県霧島市①	天孫降臨の地としての誇り	「天孫降臨」の地として地域住民が認知しており、これらの神話に関係のある霧島神宮、鹿児島神宮などの建築物や高千穂峰、若尊の鼻などのゆかりの地があり、地域の人々が誇りをもって守ってきている。また、神話に基づいた神楽祭りの開催や九面太鼓保存会の活動などが展開されており、地域住民に身近なものとなっている。	霧島神楽祭り	霧島市（旧霧島町）	・山幸彦、海幸彦（童話） ・九面（能面） ・ヤマトタケル（パレエ） ・伝承地の紹介HP	
			霧島太鼓祭り	牧園町観光協会		
			街並みの整備（国道整備）	国土交通省		
			神話の里公演の整備	霧島市（旧霧島町）		
			伝説地案内板設置	霧島市		
			天孫降臨御神火祭	霧島神宮		
	霧島市					
クマソ・ハヤトの地としての誇り	「天孫降臨」とはまったく異なる「クマソ・ハヤト」の伝承発祥の地として、熊襲穴・隼人塚・隼人城・七隈（クマソの砦）・拍子橋伝説の地など数多くの伝説地が点在している。特に、大和勢に最後まで抵抗した民族の末裔として南九州の人々は、その後の歴史からでも見てもわかるように、独特の気質、矜持をもっているように思われる。	「国史跡隼人塚」整備事業	霧島市（旧隼人町）	・隼人塚調査報告書、※隼人熊襲に関係する書籍多数 ・伝承地の紹介HP		
		伝説地案内板・石碑設置	霧島市			
		パンフレットの発行	霧島市			
		隼人・浜下り	浜下り実行委員会			